

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1. 松下芳男書簡								
1	松下芳男書簡	松下芳男	徳富健次郎		1通	慕う内容。月日の欄空白。	墨書	封筒なし。
2. 松下芳男宛書簡								
2	赤柴八重蔵書簡	赤柴八重蔵	松下芳男	5月13日	1枚	御芳葉ありがとうございます。周辺人物とのかわりについて。	ペン	郵便書簡。戦後。
3	赤松常子書簡	赤松常子	松下芳男	昭和38年7月	1枚	病氣全快の挨拶。	印刷	
4	秋月正夫葉書	秋月正夫	松下芳男	昭和40年8月29日	1枚	当方只今九月の明治座の物の稽古です。	ペン	年は消印より。
5	秋月正夫書簡	秋月正夫	松下芳男	12月11日	2枚	“国論”寄贈御礼、感想。	ペン	昭和30年代。
6	秋山弥助書簡	秋山弥助	松下芳男	昭和7年7月3日	1枚	著述頂戴御礼。	ペン	年は消印より。
7	阿南惟敬葉書	阿南惟敬	松下芳男	昭和43年8月31日	1枚	「軍事史学」の玉稿、9月10日頃までに書き上げていただければ結構でございます。「軍事研究」8月号亡父記事拝読。	ペン	年月日は消印より。
8	安部磯雄書簡	安部磯雄	松下芳男	昭和3年12月25日	1枚	中央委員就任、教育部長御当選、平素の御尽力に対する感謝の表現と存じます。	ペン	年は消印より。
9	阿部信行葉書	阿部信行	松下芳男	昭和14年9月	1枚	総理大臣就任御祝詞御礼挨拶。	印刷	封筒なし。
10	安倍能成葉書	安倍能成	松下芳男	昭和33年10月13日	1枚	山口の事、御心にかけて下され有難うございます。	ペン	年月日は消印より。
11	天野修一葉書	天野修一	松下芳男	昭和45年9月19日	1枚	旅行から帰り、貴信拝読。	ペン	消印は45.7.20
12	荒畑寒村葉書	荒畑寒村	松下芳男	昭和39年1月19日	1枚	昨十八日退院。	ペン	年は消印より。
13	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和39年3月3日	1枚	暑中御見舞申上ます。	ペン	年は消印より。
14	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和40年8月14日	1枚	暑中御見舞申上ます。	ペン	年月日は消印より。
15	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和41年11月17日	1枚	老輩次々と御他界何だか心さびしく存じます。	ペン	年月日は消印より。
16	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和45年6月27日	1枚	七月七日、八日、九日の中に何時でもよろしく御懇談申上度。	ペン	年月は消印より。
17	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和45年7月10日	1枚	御無理なお願申上げ誠に失礼致しました。御引受け被下忝く。	ペン	年月日は消印より。
18	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和45年7月20日	1枚	暑中御見舞申上ます。	ペン	年月日は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
19	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和45年8月18日	1枚	残暑見舞申上ます。日本軍閥の興亡三冊御恵贈御礼。	ペン	年月日は消印より。
20	有末精三葉書	有末精三	松下芳男	昭和45年8月22日	1枚	軍閥御覧の御所見全く同感。	ペン	年月日は消印より。
21	有末精三書簡	有末精三	松下芳男	11月15日	1枚	退院挨拶。	印刷	
22	有藤弥一葉書	有藤弥一	松下芳男	昭和34年9月9日	1枚	島中恵吉先生にはいつも御世話様になっておりますが、貴書を拝見してびっくりいたしました。	ペン	
23	飯塚友一郎書簡	飯塚友一郎	松下芳男	昭和7年7月6日	2枚	著書寄贈御礼と感想。	ペン	年は消印より。
24	石崎申之葉書	石崎申之	松下芳男	昭和37年7月13日	1枚	御芳書拝誦。習志野でお会いした方とは全く忘れて居りました。	ペン	年は消印より。
25	石原完爾葉書	石原完爾	松下芳男	昭和10年3月23日	1通	偕行社記事の件御配慮忝し。大正三年？夏の特別号にて故曾田中将の筆と存じ候。	ペン	封緘はがき使用。
26	石丸藤太葉書	石丸藤太	松下芳男	昭和8年10月14日	1枚	御手紙お礼。	ペン	年は消印より。
27	石丸藤太書簡	石丸藤太	松下芳男	昭和13年2月17日	2枚	今回の件について、お詫び。十二月二八日に保釈されました。何か御迷惑を受けましたら、いつでも私が出てあなたの潔白を保証します。	ペン	年は消印より。
28	石丸藤太書簡	石丸藤太	松下芳男	昭和15年6月2日	3枚	大審院では上申棄却。控訴院の懲役一年六か月、刑の執行猶予一ヶ年という珍無類の判決。	ペン	作成年は内容より。
29	石丸藤太書簡	石丸藤太	松下芳男	4月15日	3枚	3月6日最終公判、懲役一年、執行猶予三ヶ年。すぐ控訴をしました。日本対露支戦争の軍事小説をかため松下氏に問合せたことが刑罰に値する。	ペン	戦前、昭和12年～15年ころ。
30	市川房枝書簡	市川房枝	松下芳男	昭和50年頃	1枚	御はがきありがとうございます。	ペン	
31	市川弥助葉書	市川弥助	松下芳男	昭和37年8月17日	1枚	御尊翰頂き有難拝誦。	ペン	年月日は消印より。
32	伊藤正徳葉書	伊藤正徳	松下芳男	昭和34年11月3日	1枚	騒動史寄贈御礼。	ペン	年月日は消印より。
33	伊藤正徳葉書	伊藤正徳	松下芳男	昭和35年10月27日	1枚	日本軍制と政治、反戦運動史、乃木希典の三冊落手しました。	ペン	年月日は消印より。
34	伊藤正徳葉書	伊藤正徳	松下芳男	昭和36年10月25日	1枚	「不屈の民族精神」有難く拝見しました。	ペン	年月日は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
35	伊藤正徳葉書	伊藤正徳	松下芳男	昭和36年11月4日	1枚	文春のバックナンバー見当たらず。申訳ありません。終末篇を御送りします。	ペン	年月日は消印より。
36	伊藤正徳葉書	伊藤正徳	松下芳男	昭和37年1月1日	1枚	年賀状。	印刷	年賀はがき。
37	伊藤正徳書簡	伊藤正徳	松下芳男	昭和34カ	3枚	「陸海軍騒動史」推薦文	ペン	封筒なし。
38	稲垣守克書簡	稲垣守克	松下芳男	昭和31年11月29日	3枚	世界連邦建設同盟のこと。昨年春以来共産主義者がのさばり出し、手を引いた。	ペン	
39	今村安書簡	今村安	松下芳男	昭和41年10月7日	5枚	近況、健康のこと。	ペン	年月日は消印より。
40	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和16年8月22日	1枚	御手紙へのお礼。	ペン	軍事郵便。年は内容より。
41	今村均 書簡	今村均	松下芳男	昭和16年10月3日	1枚	広東大学は学生三百五十名程の小規模のもの。	ペン	軍事郵便。南支。年は内容より。
42	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和29年11月25日	1枚	帰宅挨拶。	印刷	年は消印より。
43	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和33年4月18日	1枚	豊島氏は当時軍の参謀をいたしておりませんので、他のものよりきいたことを真相とおもっておることと存じます。	ペン	年は消印より。
44	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和33年8月4日	1枚	私にかたった老人は千田登文（のりぶみ）氏。河原林少尉の名は忘れてしまっています。	ペン	年月日は消印より。
45	今村均書簡	今村均	松下芳男	昭和34年11月21日	2枚	著書寄贈御礼と感想。	ペン	年は消印より。
46	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和36年3月9日	1枚	あれは自衛官ようのものと考え出版に同意しましたところ一般にひろめられ、恐縮いたしてはるものです。	ペン	年は消印より。
47	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和36年4月6日	1枚	上原将軍は国軍改善のためには悪声を意とすることなしに断行された武人であんなにも勇気のあった人を見ておりません。	ペン	年は消印より。
48	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和36年12月26日	1枚	建築会社の採用試験を受けさせたい青年の勉強について御忠言をお願い申し上げます。	ペン	年は消印より。
49	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和37年3月24日	1枚	野村吉三郎先生は目下東京第一国立病院に御入院。	ペン	年は消印より。
50	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和37年7月31日	1枚	眼底出血により視力すっかりおとろえ、三分の一くらいに相成り。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
51	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和38年9月11日	1枚	令夫人の御不幸少しも存ぜず失礼に打ち過ぎ申しわけありません。	ペン	年は消印より。
52	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和39年8月1日	1枚	書中見合いお礼。	ペン	年月日は消印より。
53	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和39年10月5日	1枚	去る五月に二度目の眼底出血おこし。	ペン	年は消印より。
54	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和40年8月28日	1枚	お礼。	ペン	年は消印より。
55	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和40年12月23日	1枚	閑院宮殿下の自叙伝の御会合、私のところにはご通知がありませんでした。	ペン	年は消印より。
56	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和41年2月18日	1枚	願書の件。	ペン	年は消印より。
57	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和41年2月25日	1枚	御引見の件。	ペン	年は消印より。
58	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和41年3月9日	1枚	御厚配をたまわり感謝申し上げます。	ペン	年は消印より。
59	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和41年3月18日	1枚	御配慮恐縮	ペン	年は消印より。
60	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和41年6月22日	1枚	閑院の若宮様の御日録御恵贈感謝申し上げます。	ペン	年は消印より。
61	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和43年8月19日	1枚	御弔辞感謝申し上げます。	ペン	年は消印より。
62	井本臺吉書簡	井本臺吉	松下芳男	昭和12年12月14日	1枚	祝御応召。	墨書	付属：附箋（貴殿ノ事件八先月十六日附二テ不起訴処分）。
63	宇垣一成葉書	宇垣一成	松下芳男	12月6日	1枚	貴著御恵贈御礼。	ペン	戦前。
64	内山英太郎葉書	内山英太郎	松下芳男	昭和45年7月5日	1枚	仙幼史編纂ノ大事業貴兄ヲ措イテ他二人ナク、宜敷願上ゲマス。	ペン	年は消印より。
65	梅溪昇葉書	梅溪昇	松下芳男	昭和31年11月13日	1枚	「兵務課」について御教示ください。	ペン	年は消印より。
66	遠藤三郎葉書	遠藤三郎	松下芳男	昭和45年1月2日	1枚	「喜寿を病床に迎えて思う」。	印刷	
67	大井和子（秋山晴子代）葉書	大井和子（秋山晴子代）	松下芳男	昭和45年8月25日	1枚	亡父の生年月日回答。	ペン	秋山晴子代。年は消印より。
68	大橋直吉葉書	大橋直吉	松下芳男	昭和44年2月14日	1枚	珍しき方より御芳書を頂き難有く御礼申上ます。お別れせしより早五十年。	ペン	年月日は消印より。
69	大場弥平葉書	大場弥平	松下芳男	昭和38年10月31日	1枚	水野広徳も戦争前からさんざん海軍の連中にいじめられ、一晚私に憤慨し且つ情け無さをぶちまけたことがあります。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
70	大山柏葉書	大山柏	松下芳男	昭和39年11月7日	1枚	上京ごとに会合しています。仲間は藤江(18)千田(21)内山(21)大島(22)等です。よかつたら御参加如何です。	ペン	年は消印より。
71	大山柏葉書	大山柏	松下芳男	昭和40年2月16日	1枚	御芳書と写真拝受。当地は寒く東京と多く異なります。	ペン	年は消印より。
72	大山柏葉書	大山柏	松下芳男	昭和40年4月9日	1枚	前回と同様の会合を致します。	ペン	年は消印より。
73	岡田実・野口尚一葉書	工学院大学学長岡田実・野口尚一	松下芳男	昭和45年6月1日	1枚	工学院大学学長交代	印刷	封筒なし。
74	岡義武葉書	岡義武	松下芳男	昭和31年8月1日	1枚	クレストット氏、御引見頂ければまことに幸せに存じます。	ペン	年は消印より。
75	岡義武葉書	岡義武	松下芳男	昭和31年8月8日	1枚	モリス氏の件、御高配ありがとうございます。	ペン	年は消印より。
76	岡義武書簡	岡義武	松下芳男	昭和31年8月18日	3枚	モリス氏、クレストット氏の件。	ペン	速達。作成年は消印より。
77	岡義武葉書	岡義武	松下芳男	昭和34年11月7日	1枚	「陸海軍騒動史」御恵贈御礼。	ペン	年は消印より。
78	岡義武葉書	岡義武	松下芳男	昭和35年9月7日	1枚	「三代反戦運動史」御恵贈お礼。	ペン	年は消印より。
79	岡義武書簡	岡義武	松下芳男	昭和35年10月27日	2枚	「乃木希典」御恵贈お礼、感想。	ペン	年月は消印より。
80	岡義武書簡	岡義武	松下芳男	昭和36年2月17日	2枚	小著およみ下さいましてありがとうございます。歴史家には死者を鞭つことは、許されるときも、死者も亦生者とひとしく、その名誉の尊重されることを要求する権利をもつと存じます。	ペン	年月は消印より。
81	岡義武葉書	岡義武	松下芳男	昭和40年8月26日	1枚	暑中お見舞い。	ペン	年は消印より。
82	岡義武書簡	岡義武	松下芳男	昭和40年10月5日	1枚	刊行会顧問云々の御高嘱、大変恐縮ながらご辞退いたしたく。	ペン	年は消印より。
83	ogawa saiji 葉書	saiji ogawa	松下芳男	昭和40年2月24日	1枚	無事サンフランシスコ到着。22ニューヨークへ。	ペン	年月日は消印より。
84	落合高次書簡	落合高次	松下芳男	昭和7年5月1日	4枚	社民党分裂問題ニハ御苦心被遊ト拝察。此機会ニ離党被遊専心御研究ニ精進被致候趣満腔ノ敬意ヲ表シヨリ適当ノ機会ヲトラヒラレ候事ヲ敬服致居候。	ペン	
85	小畑加奈葉書	小畑加奈	松下芳男	昭和44年8月15日	1枚	四月中旬、グアム島への慰霊団に参加。	ペン	年月日は消印より。
86	小畑英良葉書	陸軍中将小畑英良	松下芳男	昭和15年12月	1枚	進級挨拶。	印刷	封筒なし

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
87	小汀利得葉書	小汀利得	松下芳男	昭和45年6月12日	1枚	お礼。	ペン	代筆。年は消印より。
88	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和24年1月30日	1枚	小生も不覚の落選で面目なき次第です。	ペン	年は消印より。
89	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和29年10月23日	1枚	学位を得られましたことは、大慶の至り、お祝い申し上げます	ペン	年は消印より。
90	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和30年11月4日	1枚	学術賞をもらいました由、重ね重ねの光栄をうれしく存じます。	ペン	年は消印より。
91	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和34年11月3日	1枚	第二の分裂で党も大きな危機に直面している。	ペン	年は消印より。
92	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和34年12月9日	1枚	小生もふみきることとなるでせう。	ペン	年は消印より。
93	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和36年4月24日	1枚	純のことにつき、御配慮を感謝いたします。	ペン	年は消印より。
94	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和36年9月9日	1枚	本日はお悔み状下さいまして、感謝いたします。	ペン	年は消印より。
95	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和37年1月16日	1枚	「不屈の民族精神」御恵贈御礼。	ペン	年は消印より。
96	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和37年8月15日	1枚	お通信恐縮の外ありません。	ペン	年は消印より。
97	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和38年7月16日	1枚	小生は此頃の政党が面白くなく、政界浄化に努力しようと思ふもあきれることのみ多い。	ペン	年は消印より。
98	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和38年11月24日	1枚	御期待に反し敗北し残念ですが、後慮はありません。選挙は老人には、むきません。	ペン	年は消印より。
99	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和39年3月6日	1枚	おわび申します。	ペン	年は消印より。
100	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和39年5月13日	1枚	叙勲につき祝詞有り難く存じます。	ペン	年は消印より。
101	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和39年5月15日	1枚	叙勲御祝詞お礼。	印刷	年月日は消印より。
102	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和40年3月18日	1枚	病氣入院お見舞いへのお礼挨拶。	印刷	日は消印より。
103	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和40年10月18日	1枚	祝詞有り難く存じます。	ペン	年は消印より。
104	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和43年8月10日	1枚	87才の誕生日を祝ってくださり感謝申します。	ペン	年は消印より。
105	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和43年12月25日	1枚	小生の念願は“政界浄化公営選挙連盟”のものになることとあります。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
106	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和45年4月22日	1枚	中央法律で、牧野先生を偲ぶの会をやつては如何でしょうか。	ペン	年は消印より。
107	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和45年4月30日	1枚	牧野先生の会、中央法律と社会教育、連会で開く件、異議ありません。	ペン	年は消印より。
108	片山哲葉書	片山哲	松下芳男	昭和40年4月	1枚	退院挨拶。	印刷	
109	片山哲・菊枝葉書	片山哲・菊枝	松下芳男	昭和24年6月16日	1枚	スイスは実にキレイです。	ペン	はがきの片面。年は消印より。
110	片山哲・星島二郎書簡	片山哲・星島二郎	松下芳男	昭和29年10月22日	1枚	十一月一日の学位授与の御祝の宴出席のお願い。	墨書	作成年は内容より。
111	加藤シツエ葉書	加藤シツエ	松下芳男	昭和42年11月3日	1枚	国際家族計画連盟本部の会議に西太平洋地域の代表として参加。	ペン	年は消印より。
112	加藤武徳葉書	加藤武徳	松下芳男	昭和40年10月22日	1枚	沖縄に来て昨日「岡山の塔」の除幕を行いました。	ペン	年は消印より。
113	加藤武徳葉書	加藤武徳	松下芳男	昭和42年11月1日	1枚	星島二郎先生の事、私も心配しています。	ペン	年は消印より。
114	神川彦松葉書	神川彦松	松下芳男	昭和29年10月2日	1枚	多年御奮闘の功成り大賀至極であります。	墨書	年月日は消印より。
115	賀陽垣憲葉書	賀陽垣憲	松下芳男	昭和35年4月23日	1枚	「陸海軍騒動史」御恵贈御礼。	ペン	年は消印より。
116	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年4月22日	5枚	随筆出版の件。原稿前半部をお渡ししたい。出版についての希望事項を時期や目的を箇条書きで列挙。	ペン	年は消印より。
117	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年7月7日	12枚	「皇族と日本軍制」を読んでとして、「皇族は天皇の藩屏であること」「参謀本部長問題」等6項目述べる。	ペン	年は消印より。「皇族と日本軍制」は『日本歴史』168号掲載。
118	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年7月25日	4枚	出版についての考えを箇条書きに列挙。	ペン	年は消印より。
119	閑院純仁葉書	閑院純仁	松下芳男	昭和37年9月6日	1枚	原稿の後半部は今月中頃にはお手元に上げたい。	ペン	年月日は消印より。
120	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年9月16日	2枚	一冊にするのは無理で四冊位に分けたらどうでしょう。	ペン	年は消印より。
121	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年9月27日	2枚	出版についての御配慮感謝。自費出版を考えます。お手元に上げた分も多少修正しようと思います。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
122	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年11月5日	2枚	差当り終戦前後位を圧縮してカップブックス程度のもので作ったらどうでしょう。	ペン	年は消印より。
123	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年11月11日	2枚	小冊にすることに御同意を得ましたので、内容を少し組みかえたいと思います。すでに御手元の原稿の書きかえはしていただきたい。	ペン	年は消印より。
124	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和37年12月5日	2枚	一、軍人時代の回想（仮称）上下二冊、二、敗戦前後の回想上下二冊、三、戦後今日までの生活一冊と分け、最初この「二」を出そうかと思っている。一応まとめたのでお渡ししたい。	ペン	年は消印より。
125	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	昭和38年1月14日	2枚	岩本氏と会談の日取りについて。その時に同氏に原稿をわたしたい。	ペン	年は消印より。
126	閑院純仁書簡	MRA世界会議招待委員会閑院純仁	松下芳男	昭和38年4月10日	1枚	MRA大会への招待。	ペン	年月日は消印より。
127	閑院純仁書簡	閑院純仁	松下芳男	12月15日	1枚			封筒のみ。
128	木下正幹葉書	木下正幹	松下芳男	昭和36年1月1日	1枚	年賀状。	墨書	年月日は消印より。
129	木村盛書簡	木村盛	松下芳男	昭和7年5月2日	2枚	問題は宣言や声明書やに現れないところにあるでせう。	ペン	年は消印より。
130	草生政恒書簡	草生政恒	松下芳男	昭和7年6月21日	1通	著書寄贈の御礼。	墨書	作成年は封筒の消印と内容より。
131	草生政恒書簡	草生政恒	松下芳男	昭和30年2月19日	9枚	私が退職したのは私が時代を見切ていさぎよく自ら退いたので遺憾はありませんでした。一度御尋下さるとの事承知しました。私の知る事で、陸軍進級令中改正の件等、軍制上の事一度御話して御参考に供し度とも思ひます。	墨書	年は消印より。
132	草生政恒葉書	草生政恒	松下芳男	昭和31年8月10日	1枚	お尋ねの事は耳にしましたが具体的事は知りません。	墨書	年は消印より。
133	草生政恒葉書	草生政恒	松下芳男	昭和32年1月1日	1枚	年賀状。	墨書	年賀はがき。
134	草地貞吾葉書	草地貞吾	松下芳男	昭和46年1月	1枚	「雪中遭難始末」は私蔵していましたが、終戦時満洲でなくしてしまいました。	ペン	年月は消印より。
135	小池藤五郎葉書	小池藤五郎	松下芳男	昭和34年2月20日	1枚	このたびは重ねかさねにて随分と御迷惑を御掛けいたしました。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
136	小池藤五郎葉書	小池藤五郎	松下芳男	昭和34年3月24日	1枚	御尊名の「男」と「雄」をあやまり、申訳なく存じます。	ペン	年は消印より。
137	小磯国昭葉書	小磯国昭	松下芳男	昭和18年2月16日	1枚	二月十八日の晚餐案内。	印刷	封筒なし。
138	小林躋造葉書	小林躋造	松下芳男	昭和23年6月15日	1枚	「水野広徳」伝御起稿に関連し、小生へ面会致され度旨の貴信に接しました。お出で下さればお目にかかります。	ペン	年は消印より。
139	小林躋造葉書	小林躋造	松下芳男	昭和37年1月1日	1枚	年賀状。	印刷	年賀はがき。
140	小松謙助書簡	社会教育教会常務理事小松謙助	松下芳男	大正7年8月12日	2枚	軍縮会議の件、少し気が抜けた様な観あり、その時まで保留、原稿は前に願ってもよいがいよいよは開くときで良い思う。	ペン	年は消印より。
141	小松謙助書簡	小松謙助	松下芳男	昭和7年7月31日	3枚	「徴兵令制定の前後」御礼と感想。	ペン	作成年は内容より。
142	小松謙助葉書	小松謙助	松下芳男	昭和36年12月20日	1枚	喪中欠礼。	印刷	
143	近藤真柄葉書	近藤真柄	松下芳男	昭和45年5月23日	1枚	堀の伯父には四人の子供…。(親族のこと。)	ペン	年月日は消印より。
144	堺利彦・堀成之葉書	堺利彦・堀成之	松下芳男	3月15日	1枚	通知。	墨書	
145	坂上尚葉書	松本ヤクルト商事株式会社坂上尚	松下芳男	昭和33年12月30日	1枚	年賀状。	印刷	年賀はがき。
146	阪谷芳郎葉書	阪谷芳郎	松下芳男	昭和4年5月13日	1枚	貴届幹部理事者へ回送。	ペン	年は消印より。
147	迫水久常葉書	迫水久常	松下芳男	昭和43年11月21日	1枚	先日は短時間の拜眉で失礼致しました。	ペン	年月日は消印より。
148	佐藤幸徳書簡	佐藤幸徳	松下芳男	昭和28年2月23日	4枚	インパールに於ける小生の行動について。	ペン	年月日は消印より。
149	佐藤信亮葉書	佐藤信亮	松下芳男	昭和36年	1枚	居眠り問題に関して単簡に、御参考迄に。第一回は…。	ペン	年は消印より。
150	佐藤文一葉書	佐藤文一	松下芳男	昭和7年6月22日	1枚	「徴兵令の制定前後」御惠贈御礼、感想。	ペン	年は消印より。
151	司馬遼太郎葉書	司馬遼太郎	松下芳男	昭和44年1月7日	1枚	御論文御送り下され、読ませて頂いております。	ペン	年月日は消印より。
152	司馬遼太郎葉書	司馬遼太郎	松下芳男	昭和45年8月8日	1枚	怪我御見舞への挨拶。	印刷	
153	司馬遼太郎葉書	司馬遼太郎	松下芳男	昭和43年12月	1枚	『日本軍閥の興亡』御惠贈お礼。	ペン	年月は消印より。
154	司馬遼太郎葉書	司馬遼太郎	松下芳男	昭和44年10月	1枚	「秋山好古」は入手ができません。	ペン	年月は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
155	司馬遼太郎葉書	司馬遼太郎	松下芳男	昭和45年3月	1枚	寺内というのは士官学校までの人でありますね。「花神」もやはりごく近い過去のことです。ありますから遺族がいっぱい生きていて、なるべく事実を尊重するなかで考えてゆきたいと存じております。	ペン	年月は消印より。
156	渋沢秀雄葉書	渋沢秀雄	松下芳男	昭和44年8月25日	1枚	学生にお話し下さいました由ありがとうございます。	ペン	年は消印より。
157	渋沢秀雄葉書	渋沢秀雄	松下芳男	昭和45年8月4日	1枚	暑中お見舞いへのお礼。	ペン	年月日は消印より。
158	渋沢秀雄葉書	渋沢秀雄	松下芳男	10月18日	1枚	おたよりありがとうございます。	ペン	昭和40年代 はがき7円金魚切手
159	渋沢秀雄葉書	渋沢秀雄	松下芳男	11月19日	1枚	ご移転の通知ありがとうございます。	ペン	戦後。
160	渋谷照男書簡	渋谷照男	松下芳男	昭和44年4月29日	8枚	軍務時代の回想と近況報告	ペン	年は消印より。
161	渋谷照男書簡	渋谷照男	松下芳男	昭和44年5月30日	4枚	「日本軍事史雑話」御礼、弘前時代の思い出。	ペン	
162	子母沢寛書簡	子母沢寛	松下芳男	昭和35年1月17日	1通	本のお礼。	墨書	年は消印より。
163	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和32年11月4日	1枚	お尋ねの件、御前会議の出席者の服装は勲章全佩、帯剣、白革手袋、帽子は着席後机の上に置きます。	ペン	年月日は消印より。
164	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和33年12月5日	1枚	偕行誌上にて貴説拝読。至極尤もと敬服しました。	ペン	年は消印より。
165	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和34年4月7日	1枚	御見舞御礼。	ペン	年は消印より。
166	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和35年10月26日	1枚	先日の拙翰は小生の感想をありの俚記したものに過ぎません。	ペン	年月日は消印より。
167	下村定書簡	下村定	松下芳男	昭和36年7月23日	5枚	おたずねの立候補の件、某氏推薦の件、回答。	ペン	年は消印より。
168	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和36年11月6日	1枚	貴著御恵贈御礼。	ペン	年は消印より。
169	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和40年1月19日	1枚	大兄の御力作なれば蕪辞を綴らせていただきます。	ペン	年月日は消印より。
170	下村定葉書	下村定	松下芳男	昭和43年1月1日	1枚	年賀状。	印刷	年賀はがき。
171	白柳秀湖書簡	民族文化研究所白柳秀湖	松下芳男	昭和21年1月7日	8枚	日光への疎開。図書文献の疎開。東京への引揚げ。	墨書	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
172	白柳秀湖書簡	民族文化研究所白柳秀湖	松下芳男	昭和21年10月3日	5枚	尾佐竹先生急逝新聞記事で一読、只今家に老妻と二人、弔問できず。次男坊の都合つき次第弔問の予定。大兄にはよろしくお取り計らいを願う。	墨書	年は消印より。
173	白柳秀湖書簡	白柳秀湖	松下芳男	7月24日	3枚	平民社の非戦論について。日本と戦論史の劈頭、津田出を置くことをお忘れになってませんか。	墨書	封筒なし。
174	白柳秀湖書簡	白柳秀湖	松下芳男	昭和カ7年7月15日	1通	女の婚儀の通知に鄭重な御祝詞ありがとうございます。	墨書	
175	明石照男葉書	明石照男	松下芳男	昭和24年3月8日	1枚	「青淵」何分よろしくご依頼申上候。	墨書	年は消印より。
176	明石照男書簡	明石照男	松下芳男	4月22日	1通	どうしても御辞職の由、	墨書	
177	菅沼幸子葉書	菅沼幸子	松下芳男	昭和33年3月8日	1枚	牧野田の母（松枝）3月3日死去。	ペン	年月日は消印より。
178	菅沼幸子葉書	菅沼幸子	松下芳男	昭和33年3月15日	1枚	おくやみ頂きまして恐れ入ります。	ペン	年月日は消印より。
179	菅沼幸子葉書	菅沼幸子	松下芳男	昭和34年10月17日	1枚	来月二日叔父大杉東の五十年忌で大杉の姉弟が集まります。御都合お伺いいたします。	ペン	年月日は消印より。
180	菅沼幸子書簡	菅沼幸子	松下芳男	昭和34年10月20日	4枚	箱根の帰途、御寄りになるのをお待ちしております。	ペン	年は消印より。
181	菅沼幸子書簡	菅沼幸子	松下芳男	平成21年1月28日	4枚	子供の事など。	ペン	
182	菅沼幸子書簡	菅沼幸子	松下芳男	2月19日	4枚	お礼。	ペン	
183	杉浦辰雄葉書	杉浦辰雄	松下芳男	昭和22年1月12日	1枚	雑誌「時代」の感想。君のいふところに同感。	ペン	年は消印より。
184	杉浦辰雄葉書	杉浦辰雄	松下芳男	昭和34年9月20日	1枚	残暑見舞い。	ペン	年は消印より。
185	杉山茂葉書	杉山茂	松下芳男	昭和41年10月29日	1枚	お礼。	ペン	年は消印より。
186	鈴木敏行葉書	鈴木敏行	松下芳男	昭和40年7月12日	1枚	乃木軍旗の件につき御寄稿の御挨拶を賜り恐縮の至りです。	ペン	年は消印より。
187	鈴木敏行葉書	鈴木敏行	松下芳男	昭和40年8月28日	1枚	六十年前仙幼の入校時蒼白い大兄の顔が思い出されます。	ペン	年は消印より。
188	鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	松下芳男	昭和39年7月6日	3枚	戦前の反戦運動の資料、方針書、チラシ等について所蔵の問い合わせ。	ペン	年月日は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
189	鈴木茂三郎葉書	鈴木茂三郎	松下芳男	昭和39年7月15日	1枚	貴著二冊よみました。「平民新聞」等は所有して居ります。	ペン	年月は消印より。
190	諏訪間快亮葉書	諏訪間快亮	松下芳男	昭和37年2月7日	1枚	久々にてお懐しく存じます。総監部時代の二年間の短日月でしたが学校から放たれた自由時代で思出多々あります。	ペン	年月日は消印より。
191	鈴木孝雄葉書	葬儀委員長鈴木孝雄	松下芳男	昭和37年5月11日	1枚	畑俊六急逝の通知。	印刷	
192	高木惣吉葉書	高木惣吉	松下芳男	昭和38年8月8日	1枚	テレビの瘦躯御目にとまり汗顔の至りに存じます。	ペン	年月日は消印より。
193	高木惣吉書簡	高木惣吉	松下芳男	昭和42年10月31日	2枚	「日本軍閥の興亡」寄贈御礼。	ペン	年は消印より。
194	高木惣吉葉書	高木惣吉	松下芳男	昭和45年8月15日	1枚	残暑見舞い。	ペン	
195	高木惣吉書簡	高木惣吉	松下芳男	6月10日	1枚	御来照の海軍兵学校長、別紙のとおり。	ペン	別紙なし。
196	高橋康二葉書	高橋康二	松下芳男	昭和42年11月6日	1枚	お書きになりますもの時折拝見しています。	ペン	年月日は消印より。
197	高橋竜太郎葉書	高橋竜太郎	松下芳男	昭和32年12月27日	1枚	水野君歌碑建立、貴下の御芳志になること初めて拝承。且拙名迄御刻被下候由恐縮仕候。	墨書	年は消印より。
198	高畠素之葉書	高畠素之	松下芳男	昭和3年9月26日	1枚	大思想の件左の通り決定。期日予定通りに出す。上製と並製の区別を立てる。	ペン	年月日は消印より。
199	高山岩男葉書	高山岩男	松下芳男	昭和31年11月28日	1枚	学界の愚連隊や太陽族のやうな輩が何騒いでも平気ですが困たことです。	ペン	年月日は消印より。
200	武井大助葉書	武井大助	松下芳男	昭和39年12月1日	1枚	陸海軍騒動史寄贈へのお礼。	ペン	年は消印より。
201	竹内東一郎葉書	竹内東一郎	松下芳男	昭和30年4月20日	1枚	「偕行」四月号感想。往時回想と近況。	ペン	年は消印より。
202	辰野隆葉書	辰野隆	松下芳男	昭和31年10月28日	1枚	演題「希望と追憶」の通知。	ペン	工学院大学接受。
203	田中二郎書簡	田中二郎	松下芳男	昭和31年7月25日	2枚	明治軍制史論のお礼。	ペン	年は消印より。
204	田中二郎葉書	田中二郎	松下芳男	昭和35年8月29日	1枚	「三代反戦運動史」御恵贈お礼。	ペン	年月日は消印より。
205	田中二郎書簡	田中二郎	松下芳男	昭和35年10月30日	2枚	「乃木希典」お礼。	ペン	年は消印より。
206	田中二郎葉書	田中二郎	松下芳男	昭和38年11月16日	1枚	「日本軍事史叢話」、「明治の軍隊」御恵贈御礼。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
207	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和29年10月21日	1枚	うれしきは学位を得られたことを承知いたしたる事。	ペン	年月日は消印より。
208	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和30年11月1日	1枚	毎日学十奨励金の件新聞にて承知。御目出度き限り。	ペン	年月日は消印より。
209	田中新一書簡	田中新一	松下芳男	昭和32年1月6日	5枚	“青年の文化”の貴稿面白く拝見。若干の意見を記す。	墨書	年は消印より。
210	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和39年8月21日	1枚	大学教師十年寄贈へのお礼と感想。	ペン	日は消印より。
211	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和40年7月17日	1枚	中公8月号の件。過褒全く当らず、そのまま貴台にお返しすべき。	ペン	年月日は消印より。
212	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和42年1月24日	1枚	不調の原因は電話でお話した次第。	ペン	
213	田中新一書簡	田中新一	松下芳男	昭和42年4月5日	2枚	相変わらず病床に呻吟している。なおったら君にも沢山話したいことがあるように思う、同封のパンフレットは病中の草案だ。	ペン	封筒なし。
214	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和42年5月10日	1枚	ガンセンターの厄介になることになった。まだやり度いことが残っている。「自衛隊統帥に心配はないか」は印刷に廻してある。	ペン	
215	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和43年5月1日	1枚	「明治初期の軍隊教育」ありがとう。	ペン	
216	田中新一書簡	田中新一	松下芳男	昭和44年5月5日	2枚	「日本軍事史雑話」御礼。仙幼会出席不能残念至極。	ペン	
217	田中新一葉書	田中新一	松下芳男	昭和45年6月10日	1枚	仙十会のご案内有り難う。だが残念ながら例に依り欠席させて貰う。	ペン	
218	玉田美郎葉書	玉田美郎	松下芳男	昭和42年10月20日	1枚	小生も実は「ノモンハン事件」を書いております。	ペン	年は消印より。
219	圭室諦成・静枝葉書	圭室諦成・静枝	松下芳男	昭和41年1月1日	1枚	年賀状。	印刷	年賀はがき。
220	出山撫吉書簡	出山撫吉	松下芳男	昭和10年10月25日	2枚	「話題の陸海軍史」惠贈御礼。	墨書	年は消印より。
221	東京刑事地方裁判所 葉書	東京刑事地方裁判所	松下芳男	昭和12年12月22日	1枚	軍機保護法違反石丸藤太被告事件二付、証人トシテ出頭。	墨書	
222	徳大寺実厚葉書	徳大寺実厚	松下芳男	昭和44年2月5日	1枚	退職への御言葉頂き有難うございます。	ペン	年は消印より。
223	徳田まつ葉書	日本共産党中央委員会遺族代表徳田まつ	松下芳男	昭和30年8月1日	1枚	徳田球一死去、追悼式通知	印刷	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
224	徳富猪一郎葉書	徳富猪一郎	松下芳男	昭和7年6月21日	1枚	御高著御恵贈被下難有存上候。	ペン	年月日は消印より。
225	徳富猪一郎葉書	徳富猪一郎	松下芳男	6月18日	1枚	御高著御恵贈御礼。	ペン	代筆。戦前。
226	富永信政書簡	富永信政	松下芳男	昭和13年6月28日	1通	軍制史論集御礼。此非常時そろそろ戦場に立たして頂いてもよいかと。	墨書	年は消印より。
227	鳥居鉄也葉書	鳥居鉄也	松下芳男	昭和32年10月18日	1枚	南極へ出発の挨拶。	印刷	年月日は消印より。
228	中川善之助書簡	中川善之助	松下芳男	昭和42年5月9日	2枚	中央法律新報関係の会合にお誘い下さるとのこと喜んで参上いたします。	ペン	年は消印より。ただし、42.6.9。
229	南雲親一郎葉書	南雲親一郎	松下芳男	昭和31年8月12日	1枚	連載の依頼。	ペン	年は消印より。
230	西周雄葉書	西周雄	松下芳男	昭和43年9月19日	1枚	鷗外の西周伝は誤りも多いですし当時としては書けなかったことも多々ありますので、それを只今やっております。	ペン	年は消印より。
231	西尾末広葉書	西尾末広	松下芳男	昭和34年9月27日	1枚	御激励の御信書有難く御礼申し上げます。	ペン	年月日は消印より。
232	沼田多稼蔵 内 文子葉書	沼田多稼蔵 内 文子	松下芳男	昭和36年11月4日	1枚	「不屈の精神」お送り賜り主人も大変感謝申し上げます。主人自宅にて療養中。	ペン	年は消印より。
233	野坂参三葉書	野坂参三	松下芳男	昭和40年1月18日	1枚	小著、別便で送りました。	ペン	年は消印より。
234	野坂参三葉書	野坂参三	松下芳男	昭和40年2月28日	1枚	「三代反戦運動史」御恵贈お礼。	ペン	年は消印より。
235	野村忠 内葉書	野村忠 内	松下芳男	昭和40年8月29日	1枚	主人はお陰様で何とか元気に致し居ります。	ペン	年は消印より。
236	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和3年4月21日	1枚	自分ノ収入ヲ考フルトキハアノ家ニ入ル事ハ困難カト愚考致居候。	ペン	年は消印より。
237	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和7年3月27日	2枚	日本国民ノ目的ハ依然隣国ト親善ヲ保チ之ト通商貿易ヲ行ヒ。今ヤ戦闘行為ヲ停止シアルモ、未ダ停戦協定ヲ結ブニ至ラズ彼等ハ依然以夷制夷ノ策ヲ採リ外人ニヨリ有利ニ展開ヲ希図ス。	ペン	軍事郵便。作成年は消印より。上海から。
238	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和8年2月18日	2枚	家の件安値ニシテ適当ノモノ見当ラバ考慮スル旨親類ノ一人ニ話アリ。	ペン	年は消印より。
239	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和15年12月11日	1枚	特命全権大使拜命御祝詞御礼。	印刷	日は消印より。
240	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和28年8月11日	1枚	玉葉難有拝読。	ペン	年は消印より。
241	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和29年1月10日	1枚	年賀状。	ペン	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
242	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和29年5月8日	1枚	止むに止まれず出ました。当落いづれかの一です。何でもこい。	ペン	年は消印より。
243	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和32年8月25日	1枚	「国民」一読。	ペン	年月日は消印より。
244	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	昭和34年4月7日	1枚	田中君と御同級の趣、同君は中々の英才。用ゆる処もありそふなもの。	ペン	年は消印より。
245	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和37年3月29日	1枚	御見舞状へのお礼。	ペン	名刺に書き込み。作成年月日は消印より。
246	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和38年7月3日	2枚	御見舞状へのお礼。	墨書	代筆。作成年は消印より。
247	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和38年12月2日	2枚	お礼。	墨書	代筆。作成年は消印より。
248	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	9月30日	1枚	小生片瀬に引込至り。	墨書	戦前か。
249	野村吉三郎葉書	野村吉三郎	松下芳男	平成21年3月31日	1枚	軍艦生活見学ノ件、始末ツケズシテ出港無之候。別段支障ナキ様考ヘラレ候ニ付副官ニ面接ノ上申入ラレ度。	墨書	戦前。
250	ハウス葉書	ハウス	松下芳男	昭和34年10月4日	1枚	訪問の問い合わせ。	ペン	
251	ハウス、ハウス、ハウス、リン葉書	ジャン・ハウス リン・ハウス	松下芳男	昭和35年10月1日	1枚	日本滞在中のお礼。	印刷	
252	畑善太郎葉書	畑善太郎	松下芳男	昭和4年1月16日	1枚	貴著御恵贈御礼。	墨書	年は消印より。
253	畑善太郎書簡	畑善太郎	松下芳男	昭和4年12月5日	1通	社民党大会提出の軍制改革に関する意見書拝読、内容に就いては意見あり其内愚見ご参考に供すべく候。	墨書	年は消印より。
254	平井康三郎・丈一郎葉書	平井康三郎・丈一郎	松下芳男	昭和36年5月初旬	1枚	特別演奏会ご声援御礼。	印刷	封筒なし。
255	平野力三葉書	平野力三	松下芳男	昭和23年12月19日	1枚	農林大臣中泥棒に入れ、その釈放運動を片山氏の秘書大地幸一君がなした奇怪至極な事件あり詳しくは面会の節に。	ペン	年は消印より。
256	福留繁葉書	福留繁	松下芳男	昭和43年4月27日	1枚	御見舞御礼。	ペン	年は消印より。
257	福留繁葉書	福留繁	松下芳男	昭和45年8月	1枚	残暑御見舞申し上げます。	ペン	
258	福本和夫書簡	福本和夫	松下芳男	昭和30年4月3日	3枚	ヴェレスチャギンの資料、水野広徳伝、水野広徳の著書の拝借のお願い。	ペン	年は消印より。
259	二神駿吉葉書	二神駿吉	松下芳男	昭和32年1月7日	1枚	年賀状。	ペン	年賀はがき。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
260	二神駿吉葉書	二神駿吉	松下芳男	昭和35年1月4日	1枚	年賀状。	ペン	年賀はがき。
261	二子石官太郎葉書	二子石官太郎	松下芳男	昭和7年6月24日	1枚	徴兵令制定前後御恵贈御礼。	ペン	年月日は消印より。
262	二荒芳徳書簡	二荒芳徳	松下芳男	昭和32年9月5日	1枚	水野広徳氏の歌の件「山くだけ」のほうがふさわしい。	ペン	年は消印より。
263	星島二郎書簡	星島二郎	松下芳男	昭和29年10月17日	2枚	多年の希望を達せられし趣誠に慶賀の至りに存じます。27日から11月1日までの都合のよい日と案内状の送り先をお知らせ願います。	墨書	作成年月日は封筒の記載。
264	星島二郎葉書	星島二郎	松下芳男	昭和40年2月20日	1枚	沖縄旅行良い旅行をお祈りします。中央法律会、お土産話を楽しみにしています。	墨書	年月日は消印より。
265	星島二郎葉書	星島二郎	松下芳男	昭和40年10月25日	1枚	御祝詞を頂き御芳情感謝の至りです。	墨書	年月日は消印より。
266	星島二郎葉書	星島二郎	松下芳男	昭和42年2月5日	1枚	中央法律会は2月18日（土）5時半よりして下さい。場所は平河町自民党本部北側全共連ビル地階食堂に。室は予約してきます。	ペン	年は消印より。
267	星野利元葉書	星野利元	松下芳男	昭和45年12月21日	1枚	昨日は御来訪厚く御礼申し上げます。	ペン	年は消印より。
268	穂積重遠書簡	穂積重遠	松下芳男	昭和11年10月16日	2枚	協会の方、永々御骨折を願ひ御蔭様にて新報もレールに乗った次第有難お礼申し上げます。陸軍教育史編纂御担当の件、御祝を申上ようと思っておりました。	ペン	年は消印より。
269	穂積重遠葉書	穂積重遠	松下芳男	昭和24年3月2日	1枚	最高裁判所発足当時は長官との事だったのでお断りし、今回は平裁判官というのでお受けいたしました次第。	ペン	年は内容より。
270	穂積重遠葉書	穂積重遠	松下芳男	昭和25年11月23日	1枚	愉快的な旅行をして来ました。	ペン	年は消印の形式より。
271	穂積仲子書簡	穂積仲子	松下芳男	昭和39年3月23日	2枚	著書のお礼、感想。	ペン	年は消印より。
272	穂積仲子葉書	穂積仲子	松下芳男	昭和44年5月22日	1枚	御健筆青淵誌上にて拝読させて頂いてをります。竜門社より寿杖を賜り有難うございました。	ペン	年は消印より。
273	穂積仲子葉書	穂積仲子	松下芳男	昭和45年9月6日	1枚	残暑見舞い返礼。	ペン	年は消印より。
274	本田親男書簡	毎日新聞社本田親男	松下芳男	昭和31年7月30日	2枚	明治軍制史論のお礼。	ペン	作成年は封筒の記載より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
275	牧野英一書簡	牧野英一	松下芳男	昭和11年11月27日	2枚	新事業陸軍教育史に期待。	ペン	年は消印より。
276	牧野英一書簡	牧野英一	松下芳男	昭和22年6月9日	2枚	中央法律のあつまりの御翰旋感謝申上ます。二十一日差支ありません。	ペン	年は消印より。
277	牧野英一書簡	牧野英一	松下芳男	昭和22年7月7日	2枚	御協議の結果はどういうことにおまとなりになりましたか。	ペン	年は消印より。
278	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和23年1月12日	1枚	中央法律会には火金を除けておいて下さい。午餐会となれば木曜日も除けて下さい。やはり夕方からの方がよはありますか。	ペン	年月日は消印より。
279	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和24年2月18日	1枚	早速の御見舞鳴謝申上候。	ペン	年は消印より。
280	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和25年11月15日	1枚	謹てお礼申し上げます。	ペン	年は消印より。
281	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和26年1月17日	1枚	二月二日の御指示の頃までには全快いたしたいもの。	ペン	
282	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和29年10月24日	1枚	拝復慶賀申上度候。	ペン	
283	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	昭和33年7月16日	1枚	御書面たまわり具さに拝見しました。	ペン	
284	牧野英一書簡	牧野英一	松下芳男	昭和35年1月26日	1枚	騒動史寄贈御礼。	ペン	年月日は消印より。
285	牧野英一書簡	牧野英一	松下芳男	昭和40年12月21日	7枚	25日におたずねの件おまちしております。目が不自由で門外不出です。	ペン	
286	牧野英一宅葉書	牧野英一宅	松下芳男	昭和42年11月13日	1枚	失言病にかかり療養致して居ります。	ペン	年は消印より。
287	牧野英一葉書	牧野英一	松下芳男	1月14日	1枚	パレスチナ巡礼の途上。	ペン	
288	牧野英一・清子葉書	牧野英一・清子	松下芳男	昭和43年1月5日	1枚	年賀状。	ペン	年月日は消印より。
289	牧野英一・清子書簡	牧野英一・清子	松下芳男	昭和45年3月16日	2枚	お骨折りお願いの件についてあつお礼申あげます。	ペン	牧野清子筆。作成年は消印より。
290	牧野セイコ他葉書	牧野セイコ他	松下芳男	昭和45年5月	1枚	故牧野英一葬儀お礼。	印刷	封筒なし。
291	馬島憺葉書	馬島憺	松下芳男	昭和38年3月27日	1枚	自分を書こうと努力していますが、むずかしく。	ペン	年月日は消印より。
292	松井栄雄葉書	松井栄雄	松下芳男	昭和37年2月19日	1枚	御丁寧なる御挨拶に預り真に感謝の至りに堪えません。	ペン	年は消印より。
293	松下武男葉書	松下武男	松下芳男	昭和33年6月23日	1枚	去る二十一日に勝之死去。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
294	三国直福葉書	三国直福	松下芳男	昭和33年11月23日	1枚	「丸」に小生のことが出ていたといふので大変なお褒めの言葉を頂戴しました恐縮。	ペン	年月日は消印より。
295	水野ツヤ書簡	水野ツヤ	松下芳男	昭和29年10月7日	2枚	誠におめでとうございます。	ペン	年月日は消印より。
296	水野つや葉書	水野つや	松下芳男	昭和30年11月4日	1枚	十月三十一日附の毎日新聞拝読いたしました。学術賞御授与の趣き誠に目出度き限り。	ペン	年は消印より。
297	水野ツヤ葉書	水野ツヤ	松下芳男	昭和37年2月13日	1枚	閑院純仁氏から御鄭重な御便りを頂きました。	ペン	年は消印より。
298	水野ツヤ書簡	水野ツヤ	松下芳男	昭和37年2月22日	3枚	元の閑院宮春仁王殿下なれば戦前よく承って居りました。御懇篤なお便りを頂いて恐縮しております。	ペン	年月日は消印より。
299	三淵静書簡	三淵静	松下芳男	昭和29年10月26日	1通	学位を得られ、お喜び申し上げます。	墨書	
300	三淵静葉書	三淵静	松下芳男	昭和42年8月27日	1枚	年月の早いのにおどろます。	ペン	年は消印より。
301	三淵忠彦葉書	三淵忠彦	松下芳男	昭和21年10月4日	1枚	尾佐竹君の長逝を新聞紙上にて見て驚きました。	ペン	年は内容より。
302	三淵忠彦書簡	三淵忠彦	松下芳男	昭和22年4月3日	3枚	いよいよ選挙の節に相成申候。良き代議士を選び度きものと存候。片山君らは社会党第一をめざして努力致される事と存居候。	ペン	年は消印より。
303	三淵忠彦葉書	三淵忠彦	松下芳男	昭和22年8月22日	1枚	二十二年振に裁判所に戻り、何とも変わったのに驚いています。	ペン	年は内容より。月日は消印より。
304	三淵忠彦書簡	三淵忠彦	松下芳男	1月9日	3枚	英語にても教えればかなりよろしき様子なり。(近況を伝える)	ペン	昭和20年代前半。
305	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	昭和41年9月25日	1枚	陸海軍騒動史寄贈へのお礼。	ペン	
306	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	昭和41年10月4日	1枚	動きすぎて内省、読書のいとまがないだろうとの御注意、その通りです。	ペン	年月日は消印より。
307	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	昭和41年11月23日	1枚	出版記念会には、御出席御言葉をたまはり厚く御礼申し上げます。	ペン	年は消印より。
308	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	昭和42年3月30日	1枚	昨日永年勤続で院議で表彰されました。	ペン	年は消印より。
309	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	昭和44年8月17日	1枚	暑中御見舞い。	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
310	三宅正一葉書	三宅正一	松下芳男	9月3日	1枚	長岡に於ける出版記念会を終えて帰りました。	ペン	月日は消印より。
311	宮崎燐子葉書	宮崎燐子	松下芳男	昭和24年8月18日	1枚	転載よろしい様にして下された事と存じます。	ペン	年月日は消印より。
312	宮崎龍介書簡	宮崎龍介	松下芳男	昭和29年10月27日	1枚	法学博士を得られ、御芽出度く御祝申し上げます。	墨書	年は消印より。
313	宮崎龍介書簡	宮崎龍介	松下芳男	昭和40年9月6日	3枚	おやずねの白蓮の歌が本人もはっきり覚えていない。“見て来た沖縄”は只今拝見中。	ペン	年は消印より。
314	宮沢俊義書簡	宮沢俊義	松下芳男	昭和31年7月25日	2枚	出版完了御同慶に堪えません。	ペン	年は消印より。
315	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和36年8月29日	1枚	朝日の貴下の投書拝見しました。	ペン	年は消印より。
316	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和39年10月5日	1枚	「民族精神と国家の防衛」をありがたく頂きました。	ペン	年は消印より。
317	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和41年4月1日	1枚	「日本軍事史実話」をありがたく頂きました。	ペン	年は消印より。
318	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和41年11月24日	1枚	御令弟御他界の由つつしんでお悔み申し上げます。	ペン	年は消印より。
319	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和44年8月22日	1枚	挨拶。	ペン	年は消印より。
320	宮沢俊義葉書	宮沢俊義	松下芳男	昭和45年8月15日	1枚	暑中お見舞い。	ペン	年は消印より。
321	宮沢俊義書簡	宮沢俊義	松下芳男	昭和34年カ	2枚	「陸海軍騒動史」推薦文	ペン	封筒なし。
322	村松正俊葉書	村松正俊	松下芳男	昭和44年2月24日	1枚	三月に東洋大学定年。	ペン	
323	柳秀書簡	柳秀	松下芳男	昭和45年7月31日	6枚	近況、軍務時代のこと。	ペン	年は消印より。
324	山川端夫葉書	山川端夫	松下芳男	昭和37年1月	1枚	年賀状（署名のみ）。	墨書	年賀はがき。
325	山崎今朝弥葉書	山崎今朝弥	松下芳男	昭和25年1月17日	1枚	水野氏の本の予約。	ペン	年月日は消印より。
326	山崎今朝弥葉書	山崎今朝弥	松下芳男	昭和25年1月	1枚	年賀報告状 昭和二十五年版。	印刷	
327	山田乙三葉書	山田乙三	松下芳男	昭和35年1月23日	1枚	貴著只今拝受。御芳情敬謝申上候。	墨書	年は消印より。
328	山田乙三葉書	山田乙三	松下芳男	昭和37年8月16日	1枚	暑中御見舞お礼。	ペン	年月日は消印より。
329	山田乙三葉書	山田乙三	松下芳男	昭和37年1月	1枚	年賀状。	ペン	年賀はがき。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
330	山田静子他葉書	山田静子他	松下芳男	昭和40年7月20日	1枚	山田乙三死去。	印刷	封筒なし。
331	山梨勝之進書簡	山梨勝之進	松下芳男	昭和5年7月9日	1通	先月辞任の際、極めて御同情在る御尊翰拝受。謹て御礼申上候。	墨書	年は消印より。
332	山梨勝之進書簡	山梨勝之進	松下芳男	昭和8年3月25日	1枚	御手紙にお礼。	ペン	年は消印より。
333	山梨勝之進書簡	山梨勝之進	松下芳男	昭和9年10月6日	2枚	軍縮予備交渉開始も愈々近日の内に迫り山本少将の努力誠に深く敬意を表する所に有之、願わくは我が主張が充分に相手者に解せられ円満なる結果を齎さん事。御寄贈の「軍物人物展望」拝読。	墨書	作成年は内容より。
334	山脇正隆葉書	山脇正隆	松下芳男	昭和41年10月19日	1枚	貴意の趣何卒適当に御修正の上御利用下さい。	ペン	年月日は消印より。
335	山脇正隆葉書	山脇正隆	松下芳男	昭和42年5月6日	1枚	「私の自叙伝」再販好評、その上いよいよ後編御刊行の事となり閑院様もご満悦と拝察。	ペン	年は消印より。
336	山脇正隆葉書	山脇正隆	松下芳男	昭和42年10月7日	1枚	閑院様の第二著ご完成拝受。	ペン	年は消印より。
337	山脇正隆葉書	山脇正隆	松下芳男	昭和43年8月24日	1枚	残暑見舞い。	ペン	年は消印より。
338	山脇正隆葉書	山脇生（山脇正隆）	松下芳男	昭和45年8月22日	1枚	御手紙へのお礼。	ペン	年は消印より。
339	横田喜三郎書簡	横田喜三郎	松下芳男	昭和25年3月25日	1枚	御研究を博士論文として御提出のよし期待しております。	ペン	年月日は消印より。
340	横田喜三郎書簡	横田喜三郎	松下芳男	昭和31年8月8日	2枚	御書物も有斐閣から届けてきました。御力作にふさわしいものと存じます。学位を呈したかいがあると思います。	ペン	年月日は消印より。
341	横田喜三郎葉書	横田喜三郎	松下芳男	昭和41年8月6日	1枚	最高裁判所定年退官。	印刷	年は内容より。
342	吉岡文蔵書簡	吉岡文蔵	松下芳男	昭和7年6月29日	1通	「徴兵令制定の前後」御礼と感想。	墨書	封緘はがき。作成年月は消印より。
343	吉岡文蔵葉書	吉岡文蔵	松下芳男	昭和31年11月28日	1枚	五二会名簿頂戴御礼申上候。	ペン	年月は消印より。
344	吉野作造葉書	吉野作造	松下芳男	昭和7年6月28日	1枚	御高著御惠贈御礼申上候。	ペン	年は消印より。
345	吉野作造葉書	吉野作造	松下芳男	昭和7年10月26日	1枚	陸海軍事物起源御惠贈御礼。	ペン	年は消印より。
346	名前なし葉書	名前なし	松下芳男	昭和43年8月24日	1枚	暑中御見舞感謝仕ります。新発田の状況。	ペン	年月日は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1009	今村均葉書	今村均	松下芳男	昭和29年12月15日	1枚	今村の略歴記載。	ペン	年は消印より。
1010	澤地久枝書簡	澤地久枝	松下芳男	昭和52年12月31日	6枚	明治初年の戸籍や徴兵の実際について。	ペン	
3.第三者間書簡								
347	牧野英一葉書	牧野英一	星島二郎	昭和29年10月24日	1枚	十一月一日参上。	ペン	
348	有末精三葉書	有末精三	松下和則	昭和60年4月10日	1枚	三回忌にお招きいただき…、厚くお礼申上 ます。	ペン	年月日は消印より。
349	有末精三葉書	有末精三	松下和則	昭和60年4月30日	1枚	スナップをお送りください拝受。あつく御礼申 上ます。	ペン	年月日は消印より。
4.名刺								
350	〔名刺〕陸軍大将阿部信行				1枚		印刷	
351	〔名刺〕特命全権大使阿部 信行				1枚		印刷	
352	〔名刺〕南支派遣今村部隊 本部今村均				1枚		印刷	
353	〔名刺〕朝鮮総督宇垣一成				1枚		印刷	
354	〔名刺〕海軍主計中将刑部 齋				1枚		印刷	
355	〔名刺〕朝鮮軍司令官陸軍 大将中村孝太郎				1枚		印刷	
356	〔名刺〕陸軍大将中村孝太 郎				1枚		印刷	
357	〔名刺〕野村吉三郎				1枚		印刷	
358	〔名刺〕野村吉三郎				1枚		印刷	
359	〔名刺〕野村吉三郎				1枚	残暑御見舞申し上げます。	印刷	ペン書き込み。
360	〔名刺〕関東軍司令官陸軍 中将畑英太郎				1枚		印刷	
5.大杉栄関係								
361	大杉事件記録			大正12年カ	1綴	新聞記事貼り込み。	印刷	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
362	東京朝日新聞号外			大正12年10月8日	1枚		印刷	361に挟まれていた。
363	東京日日新聞夕刊			大正12年10月9日	1枚		印刷	361に挟まれていた。
364	福田武寿書簡	福田武寿	松下芳男	昭和51年9月1日	1枚	大杉栄ら墓誌建立に関する印刷類を送ります。	ペン	
365	除幕式案内葉書	大杉栄らの墓誌建立委員会 福田武寿	松下芳男	昭和51年9月6日	1枚	大杉栄ら墓誌除幕式案内	印刷	福田氏書き込み。往信部分。
366	領収書	大杉栄らの墓誌建立委員会 福田武寿	松下芳男	昭和51年9月15日	1枚	募金領収書	ペン	福田氏書き込み。封筒あり。
367	菅沼幸子書簡	菅沼幸子	松下芳男	昭和48年10月5日	5枚	9月16日の静岡での大杉の墓前祭、記念集会に出席いたしました。	ペン	年は消印より。
368	菅沼幸子書簡	菅沼幸子	松下芳男	昭和50年8月15日	5枚	橘宗一碑保存会が発足。同封。	ペン	369を同封か。
369	寄付金募集	橘宗一少年の墓碑保存会		昭和50年8月1日	4枚	橘宗一少年の墓1枚、寄金募集1枚	印刷	同文2枚、封筒あり。368に同封か。
370	近藤真柄書簡	近藤真柄	福田武寿	6月8日	1枚	碑文の件	印刷	ガリ版。
371	扼殺だった大杉栄			昭和51年8月26日	1枚	朝日新聞	印刷	新聞切り抜き。
372	裸の大杉栄	松下芳男			5枚		印刷	雑誌切り抜き p.173-181に掲載。
373	毎日新聞（夕刊）			1975年	1枚	「甘粕事件で虐殺された 橘宗一少年の墓を守る」	印刷	
374	新聞複写				1枚		コピー	大杉夫妻密葬につき 当時の新聞。大正13年5月26日 静岡民友。
375	墓前祭を終えまして	橘宗一少年の墓碑保存会		1975年9月末日	1枚		印刷	
376	人権のひろば 第102号	愛知県人権連合		昭和50年12月10日	1冊	特集・橘宗一少年の墓碑保存運動	印刷	
377	大杉栄ら墓誌建立募金趣意書	大杉栄ら墓誌建立委員会		昭和51年6月1日	1枚	大杉栄等墓誌建立寄金申込書つき。	印刷	年のところがかすれ。ガリ版。
378	大杉栄らの墓誌建立委員会ニュース No.1	大杉栄らの墓誌建立委員会		昭和51年6月25日	2枚	同文2枚	印刷	ガリ版。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
379	大杉栄らの墓誌建立委員会 ニュース No.2	大杉栄らの墓誌建立 委員会		昭和51年7月25日	1枚		印刷	ガリ版 全体かすれ。
380	大杉栄らの墓誌建立委員会 ニュース No.3	大杉栄らの墓誌建立 委員会		昭和51年8月20日	1枚		印刷	ガリ版。
381	大杉栄らの墓誌建立委員会 ニュース No.4	大杉栄らの墓誌建立 委員会		昭和51年10月16日	1枚		印刷	
382	大杉栄らの墓誌建立委員会 ニュース 終刊号	大杉栄らの墓誌建立 委員会		昭和52年4月16日	1枚		印刷	全28ページ。終刊号の表示あり。
383	大杉栄らの墓誌建立委員会 ニュース 終刊号	大杉栄らの墓誌建立 委員会		昭和52年5月16日	1冊		印刷	全4ページ。終刊号の表示あり。
384	墓碑建立第一回実行委 報告			昭和51年6月30日	1枚		印刷	ガリ版。
385	新聞記事複（写）				2枚	大杉夫妻密葬等。東京日日新聞大正12年9月26日、同12月17日等。	印刷	大杉夫妻密葬につき ガリ版。
386	労働運動	福田武寿		昭和49年7月1日	1冊	真柄さん保存会の願い、労働運動と大杉のかかわり等。	印刷	ガリ版。
387	労働運動	福田武寿		昭和51年5月10日	1冊	橘宗一少年の追悼集会から	印刷	ガリ版。
388	大杉栄の家族と幼年学校時代	松下芳男			1点	抜き刷り	印刷	p.19-25。
389	〔雑誌切り抜き〕				1枚	大杉栄と神近市子事件のこと。	印刷	
390	家系図下書き				1枚		ペン	
391	橘宗一墓写真				2枚		写真	2枚。
6.尾佐竹猛関係								
6-1尾佐竹猛書簡 松下芳男宛								
392	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	松下芳男	昭和20年9月8日	3枚	7月19日の空襲で無一物となりました。原稿も一朝にして灰燼に帰しました。大方針としては東京を見切り英米兵の目に触れない田舎で暮らすか否か考え中です。	ペン	作成年は内容より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
393	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	松下芳男	昭和20年9月17日	4枚	政界御出馬の壮図久し振りに拝聴。昨日、愚弟より小生の立候補話あり、拒否したる折柄興趣を感じました。国民は既成政党に関心を持っておりません。時勢は予想以上に急変する。	墨書	作成年は内容より。
394	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	松下芳男	8月8日	3枚	御問合せの件に付ては近日御来訪とのこと、その砌申上度存居候も、公務出張引続き巡回講演にて月末帰京、取急ぎ取調の件御回答候。	ペン	戦前。
395	尾佐竹猛葉書	尾佐竹猛	松下芳男	27日	1枚	七月十九日再度の罹災、本日漸く表書へ落つき申候。	ペン	昭和20年か。
6-2尾佐竹猛宛書簡								
396	石浦謙二郎 書簡	石浦謙二郎	尾佐竹猛	昭和7年7月10日	1通	「徴兵令制定の前後」御惠贈の御礼と感想。	墨書	年は消印より。
397	〔名刺〕井上一次	井上一次	尾佐竹猛		1枚	「徴兵令制定の前後」御惠贈御礼	印刷	墨書書き込み。
398	黒井悌次郎 書簡	黒井悌次郎	尾佐竹猛	昭和7年7月2日	2枚	「徴兵令制定の前後」御礼。	墨書	
399	栃内曾次郎 書簡	栃内曾次郎	尾佐竹猛	昭和7年6月30日	1通	「徴兵令制定の前後」御惠贈の御礼。	墨書	
400	林銑十郎 葉書	林銑十郎	尾佐竹猛	昭和7年7月5日	1枚	徴兵令制定の前後御惠贈御礼。	墨書	年月日は消印より。
401	林弥三吉葉書	林弥三吉	尾佐竹猛	昭和7年7月21日	1枚	徴兵令制定の前後御惠贈御礼。	ペン	年は消印より。
402	藤田定市葉書	藤田定市	尾佐竹猛	昭和7年7月7日	1枚	徴兵令制定の前後御惠贈御礼。	ペン	年は消印より。
403	侯爵前田家書簡	侯爵前田家	尾佐竹猛	昭和7年7月2日	1通	「徴兵令制定の前後」御礼。	墨書	
404	矢木亮太郎葉書	矢木亮太郎	尾佐竹猛	昭和7年7月7日	1枚	徴兵令制定の前後御惠贈御礼。	ペン	年は消印より。
6-3尾佐竹猛関係 その他								
405	尾佐竹猛全集全巻目録案				1枚		印刷	ガリ版。
406	「尾佐竹猛全集」憲政史関係編纂案				1枚	第一巻から第八巻、あて。	印刷	ガリ版。
407	故尾佐竹博士論文目録				5枚		印刷	ガリ版。
408	尾佐竹猛著作目録 I				1枚		印刷	ガリ版。
409	尾佐竹猛著作目録 II				1枚		印刷	ガリ版。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
410	尾佐竹猛著作目録Ⅲ				1枚		印刷	ガリ版。
411	尾佐竹猛 年譜資料				2枚	昭和12年、昭和21年	ペン	メモ2枚あり。封筒（実業之日本社）あり。
412	解説校正刷	松下芳男			9枚	尾佐竹猛氏の三時期、明治秘史 疑獄難獄 解説。	印刷、ペン	尾佐竹猛全集第11巻解説に相当。
413	解題校正刷	松下芳男			1綴	警察裁判陪審史 解題。	印刷、青鉛筆	尾佐竹猛全集第9巻（未刊行）解題に相当。
414	解題校正刷	松下芳男			1綴	法窓秘聞 解題。	印刷、青鉛筆	尾佐竹猛全集第12巻解題に相当。
415	尾佐竹猛年譜				50枚	表紙1枚、年譜本文48枚、メモ1枚	ペン	
416	新法学博士尾佐竹猛氏の印象	松下芳男		昭和3年9月	2枚		印刷	『小天地』切り抜きp.51-54。
417	尾佐竹猛氏の思い出	松下芳男		昭和21年11月	3枚		印刷	『小天地』切り抜き p.30-33。
418	「尾佐竹猛氏の横顔」（一）	松下芳男		昭和42年12月20日	1冊	新版明治文化全集月報 No.13	印刷	
419	「尾佐竹猛氏の横顔」（二）	松下芳男		昭和42年12月20日	1冊	新版明治文化全集月報 No.14	印刷	

7.水野広徳関係

7-1水野広徳書簡 松下芳男宛

420	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和8年9月12日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月日は消印より。
421	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和8年10月26日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月日は消印より。
422	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和9年8月14日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月日は消印より。
423	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和10年8月15日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月日は消印より。
424	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和13年7月3日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月日は消印より。
425	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和18年4月15日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年は消印より。
426	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和18年7月1日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	鉛筆	年月日は消印より。
427	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和18年12月12日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年は消印より。
428	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和20年4月5日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年は消印より。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
429	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和20年5月8日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年は消印より。
430	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和20年5月31日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年は消印より。
431	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	昭和20年6月16日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	
432	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和20年7月20日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒の消印は20.7.19 書留。
433	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和20年8月16日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	
434	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和20年9月26日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	
435	水野広徳葉書	水野広徳	松下芳男	不明	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	
436	水野広徳原稿	水野広徳		昭和13年8月10日	1枚	松下芳男著作への序文	ペン	436～483は、ひもでつづられていた。
437	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	大正15年11月20日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
438	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和4年9月13日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。書簡の途中から残っている。
439	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和5年12月10日	7枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
440	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和6年6月10日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
441	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和6年7月20日	10枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
442	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和6年7月	9枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年月は鉛筆の書き込みより。
443	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和6年9月2日	2枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
444	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和7年2月5日	7枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
445	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和7年10月23日	2枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
446	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和8年4月29日	9枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
447	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和8年10月31日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
448	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和8年11月6日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
449	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年1月6日	1通	『水野広徳著作集』第7巻収録	墨書	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
450	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年5月3日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
451	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年5月24日	9枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
452	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年8月24日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
453	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年9月20日	6枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
454	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年9月22日	6枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
455	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和9年10月16日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
456	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年5月24日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
457	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年6月1日	7枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
458	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年6月22日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
459	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年8月4日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
460	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年8月11日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
461	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年8月31日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
462	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年9月17日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
463	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年10月1日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
464	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年10月19日	6枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
465	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和10年12月20日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
466	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和11年9月23日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
467	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和12年3月18日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
468	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和12年11月12日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
469	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和13年3月1日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
470	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和13年3月14日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
471	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和13年6月1日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
472	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和13年10月25日	2枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
473	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和13年10月19日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
474	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和15年6月	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年月は鉛筆の書き込みより。
475	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和15年8月14日	5枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
476	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和15年12月17日	1枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
477	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和15年12月21日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
478	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和15年12月25日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
479	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和17年8月19日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
480	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和18年4月24日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
481	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和18年7月26日	4枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
482	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和19年2月14日	3枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。年は鉛筆の書き込みより。
483	水野広徳書簡	水野広徳	松下芳男	昭和20年3月7日	7枚	『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	封筒なし。
7-2水野広徳歌碑関係								
484	歌碑文案	福本生（福本和夫）	松下学兄	8月6日	1枚	水野広徳先生歌碑の文案。	ペン	封筒なし。
485	福本生（福本和夫）書簡	福本生（福本和夫）	松下学兄	8月6日	1枚	歌碑撰文の件。私見を述べる。	ペン	485-495クリップ留め。485の文中別紙は484か。
486	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年8月8日	1枚	一昨日御手紙差出しました。これで私としては発案者としての責任は十二分に果たしたつもりです。	ペン	年は消印より。
487	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年8月10日	1枚	あの文章は、…この三点を根本方針として起草しました上、一時一句につき比較検討を重ねてまとめ上げたものでした。	ペン	年は消印より。
488	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年8月13日	1枚	先日の文章に御不満の節は、私の文章は一括放棄、全文あなたの草案によられることにおねがいます。	ペン	年は消印より。
489	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年2月7日	1枚	いよいよ歌碑実現に向って邁進されます趣衷心よりおよろこび申し上げます。	ペン	年は消印より。
490	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年3月3日	1枚	御選定の歌ですが、余計なことを申上げて恐縮ですが、あれでは散文に近く、歌になっていないようで…。	ペン	年は消印より。
491	水野広徳氏歌				1枚	歌の推薦と、歌碑の場所について。	ペン	
492	メモ	和夫	松下博士		1枚	松山市豊坂町蓮福寺の墓地にある水野家の墓碑、正面、裏面、左右側面。	ペン	「1955年6月25日写入」とある。
493	書簡断片書簡				2枚	歌碑の歌について	ペン	
494	書簡断片書簡				1枚	歌碑の撰文、除幕式だけでなく大講演会を併せておこなえば大いに有意義ではないでしょうか。	ペン	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
495	福本和夫書簡	福本和夫	松下博士	3月12日	5枚	問題は選歌の件ですが御参考までに申し上げますたいと存じます。私の会見して検討した知友は次の如き範囲でした。…「世のごびず」の御選歌にはどうしても賛同できません。	ペン	
496	二神駿吉書簡	二神駿吉	松下芳男	昭和32年2月2日	1通	下松正宗寺に建碑御決定の由愛媛紙上にて其経緯承悉致しました。	ペン	簡易書簡。作成年は消印より。
497	愛媛新聞			昭和32年2月19日	3枚	「学恩の師へ捧ぐ”歌碑”」記事あり。	印刷	
498	愛媛新聞			昭和32年8月12日	1枚	景浦稚桃「水野広徳氏をしのぶ 歌碑建設に際し」あり。	印刷	
499	安倍恕葉書	安倍恕	松下芳男	昭和32年8月21日	1枚	私は「世にごびず」の方を採ります。	ペン	
500	安倍能成葉書	安倍能成	松下芳男	昭和32年8月21日	1枚	水野さんを表現するには、「世に媚びず」の方よいと信ずる。	ペン	年は消印より。
501	福本和夫葉書	福本和夫	松下芳男	昭和32年8月21日	1枚	元新聞の論説委員であった友人等に、碑文両案比較検討してもらいました。	ペン	年は消印より。
502	二神駿吉葉書	二神駿吉	松下芳男	昭和32年8月27日	1通	水野建費の件、御下問の撰歌に付いては、斯道の友人共と相談の結果、矢張り、当初御撰びの「世にごびず」の方を故人の面影を率直に表現して面白からんとの事に一決致しました。	ペン	簡易書簡。年は消印より。
503	小林躋造書簡	小林躋造	松下芳男	昭和32年9月2日	1通	諸君の御意見に依り決定されてよろしいかと思いますが、世にごびず…が尤も適当かと存じます。	墨書	年は消印より。
504	片山哲書簡	片山哲	松下芳男	昭和32年9月3日	2枚	小生もやはり歌は第二番目の方がいいと思います。貴下の文章結構です。	ペン	年は消印より。
505	安倍能成葉書	安倍能成	松下芳男	昭和32年10月29日	1枚	17日に松山にゆくといつても用事の為にゆくのにて、十二時までには正宗寺にまいるわけにはゆきません。これは先約故。	ペン	年は消印より。
506	「水野広徳歌碑」	松下芳男		昭和32年11月1日	1綴	「水野広徳の歌」（松下芳男ペン書き）、歌碑関係の新聞切抜き、除幕式次第書、講演会チラシ。		506－507クリップ留め。
507	「水野広徳歌碑建設趣意書」	水野広徳歌碑建設委員会		昭和32年2月	1綴	趣意書	ペン	原稿用紙6枚。506－507クリップ留め。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
508	野村吉三郎書簡	野村吉三郎	松下芳男	昭和32年11月7日	2枚	日程は御申越通りにて結構。水野は五六十年間の友人。十六日朝、東京駅にてお目にかかります。	ペン	年は消印より。
509	正宗寺田中宗担書簡	正宗寺田中宗担	松下芳男	昭和32年11月13日	4枚	昨日、松木氏に頼まれ県や市、新聞社に協力依頼に廻りました。今日の朝刊に早速同封の様な記事を出してくれて居ますが、所々間違った所もあります。	ペン	年は消印より。新聞記事は無し。
510	安倍能成葉書	安倍能成	松下芳男	昭和32年11月14日	1枚	PTA大会で話すことになって居るから、除幕式には伺へますまい。	ペン	年は消印より。
511	福本和夫書簡	福本和夫	松下芳男	昭和32年11月14日	5枚	歌碑について、さいごの回答としてこの手紙を差上げることにした次第です。	ペン	
512	請求書	大谷伊三郎	松下先生	昭和32年11月17日	1枚	歌碑土台運搬据付等。	カーボン	
513	約定書	松下芳男他		昭和32年11月17日	1枚	正宗寺への歌碑寄贈等。	墨書	
514	仮領収書	大谷伊三郎	松下先生	昭和32年11月18日	1枚		ペン	
515	愛媛新聞			昭和32年11月18日	1枚	「水野広徳氏の歌碑完成」記事あり。	印刷	
516	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和32年12月4日	4枚	決算。除幕式、講演会等の報告、説明。	ペン	付属：領収書2綴り、決算表1綴り、計算メモ6枚。
517	小林躋造葉書	小林躋造	松下芳男	昭和32年12月26日	1枚	水野広徳歌碑建立除幕式、小生等の選んだ歌を作用されました由報顔の至りです。	ペン	年は消印より。
518	関東愛媛 15号	関東愛媛県人会広報部		昭和33年1月15日	1点	「水野広徳氏歌碑も完成」記事あり。	印刷	
519	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和33年2月12日	3枚	「水野広徳」売上代金について別紙同封。本の販売について。水野先生の歌碑について。	ペン	別紙なし。
520	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和33年3月17日	2枚	歌碑を正宗寺に寄贈する件、別紙約定書のように。本の販売のこと。	ペン	消印は33.3.16。別紙なし。
521	水口正一書簡	水口正一	松下芳男	6月15日	3枚	歌碑の歌は最初の「世にこびず人におもねらず…」の方が水野氏の真骨頂を表現するにふさわしいと愚考。	ペン	封筒なし。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
522	飯塚友一郎書簡	飯塚友一郎	松下芳男	8月30日	3枚	御諮問の件、「世に」も「山砕け」もいずれも故人の朴訥剛毅な人格をよく現していますから、小生はいずれでもよいと思います。	ペン	封筒なし。
523	桜井忠温葉書	桜井忠温	松下芳男	9月9日	1枚	水野先生の碑。	墨書	戦後。
524	水野つや書簡	水野つや	松下芳男		2枚	思いもよらぬ盛大な挙式を頂きまして全く個人の面目これに過るものはございません。	ペン	封筒なし。
525	水野つや書簡	水野つや	松下芳男		2枚	之れで永久に水野は皆様の御記憶に残るであろう事を思ひ有難くて涙が出ます。本当に心から厚く厚く御礼申し上げます。	ペン	封筒なし。
526	松下芳男・水野つや写真				1枚	水野広徳歌碑の前で撮影。	写真	
527	水野広徳歌碑写真				8枚	歌碑全体4枚、歌の部分1枚、碑文の部分2枚、526と同じものを縮小しタトゥをつけたもの1枚。	写真	
528	ビラ「水野広徳歌碑建設記念講演会」				1枚		印刷	
529	ビラ「水野広徳歌碑除幕式次第書」				1枚		印刷	
7-3水野広徳関係 その他								
530	二火会誌 中央法律会				1冊	二火会：第1回（昭和22年5月24日）～第4回（同年10月14日）、中央法律会：第1回（昭和21年6月15日）～第4回（昭和23年1月31日）	ペン	
531	『中央法律新報』の思い出	松下芳男			1冊		印刷	抜き刷り。
532	〔二火会 例会記録帳〕				1冊	大正15年3月9日から昭和2年12月。	ペン	
533	〔二火会 例会記録帳〕				1冊	1928年正月から昭和7年12月13日。	ペン	表紙背表紙取れ。
534	水野広徳伝単				1枚	大正一四年四月の中央公論に水野広範氏は次の様に掲げた。	印刷	
535	水野広徳伝刊行趣意書	松下芳男他		昭和23年4月	1綴	刊行趣意書、後援規約、水野広徳伝目次、略伝他。	ペン	付属：ビラ「松下芳男著『水野広徳』を推薦します」。
536	「水野広徳」題釜下書き	三淵忠彦カ			5枚	「水野広徳」題釜。	墨書	水野広徳の名を列挙。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
537	ビラ「松下芳男著『水野広徳』を推薦します」				15枚		印刷	同一物が15枚。
538	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和34年2月10日	3枚	「水野広徳」売却収支。	ペン	
539	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和35年2月27日	4枚	「水野広徳」売却収支。三笠展覧会は大盛況。	ペン	
540	松木正直書簡	松木正直	松下芳男	昭和35年4月9日	2枚	「水野広徳」売却収支。預り証。	ペン	
541	水野ツヤ書簡	水野ツヤ	松下芳男	3月2日	2枚	この間荷物の整理中文屑箱の中から別紙の原稿が出てまいりましたのでお送りしてみます。	ペン	別紙は542か。戦後。
542	大正四年二月盡同稿	水野広徳		大正4年2月尽日	20枚	枚数表示は一四、一六～三三。文章は途中から、(四) 富強論、(五) 拳国一致論、(五) 自覚論。	カーボンカ	541に同封されていたものか。
543	水野ツヤ書簡	水野ツヤ	松下芳男	昭和20年10月	3枚	御丁寧な御弔電と御弔詞を頂き誠に有難く御礼申し上げます。『水野広徳著作集』第7巻収録	ペン	年月は消印より。
544	水野ツヤ電報	水野ツヤ		昭和20年10月23日	1枚	水野広徳死亡の通知。		ミヅ ヒロノコーハヒシス ツヤ
545	『史』	現代史懇話会		昭和54年12月15日	1冊	ねずまさし「水野大佐の「興亡の此一戦」収録。	印刷	付属：ねずまさし「幻の名著 水野大佐の『打開か破滅か 興亡の此一戦』『有鄰』141号、1979.8.10挟み込み。/ ねずまさしから松下氏への献呈。
546	水野広徳の思想が本に			平成7年7月5日	1枚	朝日新聞 新聞切り抜き。	印刷	
547	「水野広徳著作集」刊行に寄せて	家永三郎		平成7年8月21日	1枚	毎日新聞 新聞切り抜き。	印刷	
548	雄山閣の出版広告、前坂俊之編『水野広徳』掲載			平成5年12月21日	1枚	『朝日新聞』出版社広告欄	印刷	
549	日本平和論大系チラシ	日本図書センター			1枚	第7巻に水野広徳、松下芳男の著作収録。	印刷	
1015	水野広徳作成の和歌	水野広徳			3枚	表裏に1首づつ、合計6首。	墨書	
1016	水野広徳の思想が本に	松井覚進		平成7年7月5日	1枚	『水野広徳著作集』に関する記事。	コピー	朝日新聞のコピー。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1017	『海軍大佐の反戦 水野広徳』書評			平成6年4月	1枚	『海軍大佐の反戦 水野広徳』は、松下芳男『水野広徳』を現代語訳に書き改めて復刊したもの。	コピー	『世界の艦船』1994.4より。
1018	松下芳男『水野広徳』の推薦文	馬場恒吾ら6名			3枚		印刷	同一物3点。
1019	日本人の発見	高木俊朗		昭和61年11月3日～24日	8枚	東京新聞紙上に掲載された水野広徳の特集記事。「1、『此一戦』の水野広徳」、「2、名前消された水野広徳」、「3、秘匿された自伝・水野広徳」、「4、松下芳男と水野広徳」の4回。	印刷	同一物2点。1点は切り抜きを台紙に貼り付けたもの4枚。もう1点はそのコピー4枚。コピー4枚はホチキス止め、腐食のためはずす。
1032	『中央法律新報』の終始	松下芳男			1枚	雑誌等のコピーか？	コピー	
8. 松下芳男著作								
550	法学講義 再改定	松下芳男			1冊	「本書は工学院大学における法学の講義案として書かれた」序説より。	印刷	128 p
551	軍事史雑話（二）	松下芳男		昭和46年9月	1冊	『軍事史学』第7巻第2号抜刷	印刷	同文2冊
552	西郷隆盛の亡霊	松下芳男		昭和47年9月	1冊	『軍事史学』第8巻第2号抜刷	印刷	
553	明治初年の月給	松下芳男		昭和47年12月	1冊	『軍事史学』第8巻第3号抜刷	印刷	
554	明治天皇と特別大演習	松下芳男		昭和49年12月	1冊	『軍事史学』第10巻第3号抜刷	印刷	
555	東京鎮台の練兵場	松下芳男			1冊	抜き刷りp.85-102	印刷	
556	カウツキー マルクシズムの人口論 自筆原稿類	松下芳男			32枚	表紙1枚、原著者序訳19枚、訳者序4枚、印刷された物への書き込み8枚。	ペン	マルクス思想叢書5に訳出したものへの増補か。
557	×年の陸軍史切り抜き	松下芳男			45枚	Xには、十二支が入る。『偕行』の連載記事。昭和33年1月～昭和55年1月分。	印刷	
558	日本軍隊史年表	松下芳男			1冊	p(.121)-136何かの抜き刷り。	印刷	
559	反戦思想の種々相	松下芳男			1枚	p.5-6何かの切り取り。	印刷	
560	明治時代における想定敵国の変遷	松下芳男			8枚	切り取り。	印刷	『軍事史学』15号、1968.11収録。
561	チラシ				2枚	松下芳男『改訂 明治軍制史論』国書刊行会、田中新一著、松下芳男編『田中作戦部長の証言』芙蓉書房	印刷	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
562	宣伝ビラ				2枚	2枚のうち1枚は図書・雑誌の切り取りか。	印刷	
563	SCRAP BOOK (新聞切り抜き綴)				1冊	主に昭和戦前期、松下芳男執筆記事(「峡中の農民諸君へ」「軍備縮小の根本問題」等)。		
564	〔送り状〕	松下芳男		〔1972〕	2枚	『深く現代を考える』の送り状。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
565	戦後三十年の日本の現状	松下芳男			6枚		ペン	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
566	ユーモア 四五、九、七 老人会	松下芳男			3枚		ペン	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
567	田中新一の略歴 (自筆)	松下芳男カ、田中新一カ			3枚	途中で切れている。	ペン	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
568	報告	松下芳男			8枚	研究者の提出したる資料は、これを(一)統率論、(二)戦史論に別くるを得るであろう。	コピー	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
569	執筆切り抜き	松下芳男			6枚	「歳月の力」、「東京市疑獄事件 政界汚職物語 (六)」等。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
570	相手の身になって考えよ	松下芳男			3枚	雑誌の一部か。p.14-17。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
571	校友会理想私論	松下芳男			1枚	『会報』第24巻4号 第89号 p.1-2。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
572	兵役税と徴兵保険 (一)～(四)	松下芳男		昭和3年	4枚	『保険銀行時報』第1399号～1402号、昭和3年11月27日、同年12月6日、12月13日、12月20日。	コピー	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。
573	執筆辞書項目	松下芳男			6枚		印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていた。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
574	自筆ノート				1冊	終戦直後。	ペン	状態悪い。
575	「日本戦争史物語」ゲラ	松下芳男		昭和19年6月	1冊	朱入り	印刷	未刊か。年月ははしがきの記載。
576	「日本陸軍史物語」ゲラ	松下芳男		昭和18年9月	1冊	朱入り	印刷	未刊か。年月ははしがきの記載。
577	三淵長官をしのぶ	法曹会		昭和36年7月14日	1綴	松下芳男「崇敬した三淵忠彦氏」。	コピー	
578	片山哲氏を偲ぶ 片山氏と社会教育協会	松下芳男			3枚		印刷	雑誌切り抜き p.66-69に掲載。
1013	松下芳男編『山紫に水清き』書評	田中梓		昭和49年7月	2枚	『山紫に水清き』は仙台陸軍幼年学校の学校史。	コピー	同一物2点。1011～1014は同一のクリアファイル内にて保存（1011,1012,1014はp.43）
1020	松下芳男『乃木希典』に関する書類	吉川弘文館	松下芳男	昭和35年	8枚	封筒あり。「印税計算書」2枚、「出版契約書」1枚、「発行お願い書」1枚、小封筒入りの読者の声4枚。	ペン	
1021	刻苦三十年の結晶	松下芳男		昭和15年頃	5枚	伊藤政之助について述べたもの。	ペン	
1022	奉告文	松下芳男		昭和14年8月13日	4枚	内山熊八郎の奉告文。	ペン	
1023	陸の長州・海の薩摩	松下芳男			5枚	雑誌の切り抜きか？	印刷	
1024	明治・大正における軍制上の諸問題	松下芳男			1冊	49ページ。	印刷	
1025	徴兵令の対学徒政策	松下芳男		昭和45年3月16日	1冊	『工学院大学紀要』第8号、抜刷。	印刷	
1026	軍隊教育変遷の研究	松下芳男		昭和40年1月	1冊	『工学院大学研究論叢』第3号、抜刷。	印刷	
9.松下芳男執筆資料類								
579	上村彦之丞写真				1枚		写真	
580	樺山資紀写真				1枚		写真	
581	児玉源太郎写真				1枚		写真	
582	建川美次写真				1枚		写真	
583	西郷従道写真				1枚		写真	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
584	上原勇作写真				1枚		写真	
585	石原完爾写真				1枚		写真	
586	桂太郎写真				1枚		写真	
587	荒木貞夫写真				1枚		写真	
588	秋山真之写真				1枚		写真	
589	乃木保典・勝典写真				1枚		写真	
590	大川周明・東条英機写真				1枚		写真	
591	山本権兵衛写真				1枚		写真	
592	真崎甚三郎写真				1枚		写真	
593	大山巖写真				1枚		写真	
594	田中義一写真				1枚		写真	
595	寺内正毅写真				1枚		写真	
596	川上操六写真				1枚		写真	
597	児玉源太郎写真				1枚		写真	
598	加藤寛治写真				1枚		写真	
599	〔乃木希典関係写真一括〕				28枚	乃木希典胸像、軍服、軍帽、乃木神社、乃木邸、辞世の句等。	写真	
600	〔乃木希典関係切り抜き一括〕				1括	図書、雑誌等からの肖像写真の切り抜き等		
601	高島鞆之助写真				1枚		写真	
602	大鳥圭介写真				1枚		写真	
603	大山巖写真				1枚		写真	
604	皇族写真				1枚		写真	
605	旅団營所写真				1枚		写真	
606	宇垣一成写真				1枚		写真	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
607	〔日だより 蘇峰生「徴兵令制定の前後」〕	徳富猪一郎			1枚	書評。	印刷	新聞切り抜き。
608	偕行 臨時増刊号（通巻321号）	偕行社		昭和52年11月3日	1冊	偕行社創立百周年記念号。戦後偕行記事索引あり。	印刷	
609	社会思想家を顧みる	落合生			1括	カンパネラ、ハリントン、ロック、ルソー、ゴッポン5名分。	ペン	
610	陸軍省職員表（複写）				1枚	元は昭和15年1月陸軍省印刷。	コピー	
611	白蓮女史新聞切り抜き				2枚	紙に貼り付け。	印刷	
612	東京日日新聞夕刊 昭和12年1月13日 1面2面			昭和12年1月13日	1枚	「宇垣内閣遂に流産」。	印刷	
613	非常時立法の文化的意義	牧野英一		昭和21年9月10日	1冊		印刷	社会教育文庫14 社会教育協会発行。
614	「思い出すあの時」切り抜き				1綴		印刷	
615	屯田兵の記録	更科源蔵			1綴		コピー	「ドキュメント日本人7」より複製。
616	戊辰戦争日記	池野正芳		昭和42年秋	1冊		印刷	付属：松下芳男氏宛池野芳男書簡（2枚）あり。
617	屯田兵村	北海道教育委員会		昭和48年12月26日	1冊		印刷	付属：送り状1枚、屯田兵の歌1枚、正誤表2枚。
618	美唄屯田兵屋復元の沿革	美唄屯田兵記念物保存会		昭和45年9月1日	1冊		印刷	
1027	田中新一の履歴				1枚	明治26年の出生から昭和20年の終戦までの履歴。	鉛筆	
1028	陸軍軍人の名簿				1枚	中村孝太郎、寺内寿一ら10名の氏名等を記載。	鉛筆	
1029	陸軍軍人等の名簿				4枚	氏名、生年月日、出身地、学位、称号、現職等を記載。	ペン	
1030	熊本師団の伝統	古閑健			4枚	『軍事史学』第9号(昭和42年5月)のコピー。青ペン、赤ペン等で書き込み有。	コピー	
1031	巡邏兵規則御定ノコト				1枚	法令集のコピーか？	コピー	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1033	叛乱部隊行動一覧表				1枚	昭和11年3月作成の二・二六事件に関する資料。	コピー	
1034	封筒				1枚	表に「保存資料、「博士論文」通過の電報、手紙在中」と記載。中身はから。	ペン	中身は1052(p.41)か。
10.新発田関係								
619	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	2月7日	3枚	松下芳男連載「幼き日の新発田」の刊行の件。	ペン	
620	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	10月12日	2枚	故井伊誠一氏の資料整理。松下芳男先生の書簡も多数あり。	ペン	
621	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	1月31日	3枚	松下芳男略歴確認等。	ペン	文章が途中から始まっている。
622	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	昭和58年12月14日	2枚	松下芳男先生を弔む文を送ります。	ペン	封筒あり。
623	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	2月17日	2枚	二月中に原稿全部を集め出版社に渡す予定。	ペン	622に同封。「かわらばん」。
624	榎本弘書簡	榎本弘	松下和則	昭和60年4月9日	2枚	新潟日報に掲載した「大杉栄と新発田」、「落谷虹児の新発田」のコピーを送る。	ペン	622に同封。「大杉栄と新発田」「落谷虹児の新発田」新潟日報コピー。
625	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則		3枚	「幼き日の新発田」発刊の件。	ペン	622に同封。
626	新聞記事類				1括	「社会主義中尉と軍事史家」『新発田郷土誌』第12号、〔松下芳男プリント〕1綴、「松下芳男先生略歴」1枚、「田口運蔵の評伝刊行」『新潟日報』S58.10.16記事コピー1枚、「かわらばん」（昭和59.3.15）1枚、「回顧録「幼き日の新発田」新聞コピー」1枚、松下芳男「幼き日の新発田（一）」『新下越』48.2.18コピー1枚。		622に同封。
627	荻野正博書簡	荻野正博	松下和則	昭和61年12月3日	1枚	高木俊朗氏「松下芳男と水野広徳」、ありがとうございます。	ワープロ	年月日は消印より。荻野正博「資料紹介・井伊誠一文書」『新潟史学』19号抜刷、『新発田高等学校同窓会』第10号、同封。
628	「進め」誌と新潟県支局について：田口運蔵主幹期における	荻野正博		昭和50年10月1日	1綴	『歴史評論』306号掲載論文コピー。	コピー	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
629	御宿時代の田口運蔵	荻野正博		昭和50年秋	1綴	『蒲原』40号 p.26-31。	印刷	
630	「進め」にみる新潟県社会運動関係記事	荻野正博		昭和48年10月1日	1冊	『かみくひむし』11号抜刷。	印刷	
631	井伊誠一日記複写				2綴	大正6年2月、4月の日記コピー。	コピー	松下和則宛書簡、封筒あり 昭和63年8月26日。
632	新聞切り抜き複写				1枚	荻野正博『弔辞なき終焉』お茶の水書房の書評（『朝日新聞』58.11.28、『毎日新聞』58.11.28）。	コピー	
633	旧新発田兵舎 惜別の栞	旧新発田兵舎惜別会		昭和44年5月17日	1枚		印刷	
634	白壁兵舎落成 百年の栞	陸上自衛隊第三十普通科連隊		昭和49年5月19日	1枚		印刷	
635	中学生時代	落合高次編		昭和16年10月	1冊		印刷	
636	中学生時代	落合高次編		昭和17年10月	1冊	松下芳男「思い出す人々」収録p.110-115。	印刷	
637	新発田タイムス寄稿				33枚	昭和23年11月～25年3月 新聞切抜きをスクラップ。	印刷	
638	思い出す人々	松下芳男			4枚		印刷	
639	百日祭				4枚		コピー	同文4枚。
640	〔自稿切り抜き綴〕				13枚	「新発田の新聞の思い出」、「新発田博物館を建設せよ」等。		
641	越佐健児の栄光 略年表	野崎武		昭和46年2月11日	1冊		印刷	年月日は はしがき より。
11. 松下芳男履歴関係								
642	卒業証書	仙台陸軍幼年学校長名		明治42年7月10日	1枚		墨書	
643	卒業証書	陸軍中央幼年学校長名		明治44年5月29日	1枚		墨書	
644	卒業証書	陸軍士官学校長名		大正2年5月26日	1枚		墨書	
645	辞令	内閣総理大臣名		大正2年12月25日	1枚	任陸軍歩兵少尉。	墨書	

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
646	位記	宮内大臣名		大正3年3月20日	1枚	叙正八位。	墨書	
647	証	早稲田大学学長名		大正6年4月10日	1枚	政治経済科講義録二就キ……成業ヲ証入。	墨書	
648	辞令	内閣総理大臣名		大正6年8月6日	1枚	任陸軍歩兵中尉。	墨書	
649	位記	宮内大臣名		大正6年10月1日	1枚	叙従七位。	墨書	
650	辞令	内閣		大正10年11月8日	1枚	軍人恩給法ニ依リ之ヲ給与ス。	墨書	
651	卒業証書	日本大学法文学部長名、同大学総長名		大正13年3月31日	1枚		墨書	
652	東京日日新聞 大正9年6月28日記事				1巻	「社会主義に共鳴し将校が軍隊を嫌忌す」、松下中尉の記事。	印刷	巻物にしたもの。赤鉛筆で印。
653	免官願 自筆	松下芳男	陸軍大臣 荒木貞夫	昭和7年8月27日	1枚		墨書	652 (p.43) にくるまれていた。
654	辞令	賞勲局総裁名		昭和15年4月29日	1枚	支那事变賜金。	墨書	
655	辞令	内閣		昭和17年1月10日	1枚	奏任官待遇。	墨書	
656	「旧陸海軍正規将校及び特別志願予備将校の追放該当について」通知	東京都中野区役所	松下芳男	昭和22年12月4日	1通		印刷	付属：「覚書該当者の届出について」中総発第621号昭和23年7月28日1枚、同区役所総務課統計係説明1枚。/作成年は消印より。
657	学位記	東京大学		昭和29年10月13日	1枚	法学博士の学位を授ける。	墨書	外筒あり。「注意事項」1枚。
658	毎日学術奨励金 受賞に輝く人々			昭和30年10月31日	2枚	毎日新聞 新聞切り抜き 松下芳男記事あり。	印刷	同文2枚。
659	記	毎日新聞社長名		昭和30年11月3日	1枚	毎日学術奨励金を授けます。	墨書	外筒あり。
660	ビラ	民青工大E班		昭和44年11月21日	1枚	反動教授を告発する。1969. 11. 21	コピー	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていました。
661	辞令	工学院大学 理事長名		昭和45年3月31日	1枚	解嘱。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルには含まれていました。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
662	辞令	工学院大学 理事長名		昭和45年4月3日	1枚	工学院大学教授委嘱。	印刷	564～573、660～662は一つのファイルにはさまれていた。
663	松下芳男氏功績調書（複写）				1綴	鉛筆書き込みあり。	コピー	
664	松下芳男氏功績調書（複写）				1綴	663を縮小したもの。鉛筆書き込みあり。	コピー	
665	『銀河の道』書評			平成元年9月	3枚	秦郁彦『週刊現代』、毎日新聞平成元年9月18日（コピー）、新潟日報平成元年9月9日（コピー）。	コピー	中島欣也『銀河の道』（恒文社、1989）は松下芳男の評伝。
666	青淵 566号			平成8年5月1日	1冊	伊従正敏「縁と縁 松下芳男先生のこと」収録。	印刷	
667	青淵 567号			平成8年6月1日	1冊	伊従正敏「縁と縁 松下芳男先生のこと」（二）収録。	印刷	
1001	『渋沢青淵記念財団 竜門社百年史』	渋沢青淵記念財団 竜門社編		昭和61年1月	1冊		印刷	『青淵』昭和61年1月号抜刷
1002	「編集後記」他				4枚	『青淵』昭和40年11月「編集後記」、「渋沢青淵記念財団竜門社の沿革」、「渋沢栄一年表」、渋沢栄一「道德経済合一説」	コピー	1001(p.)に挟み込まれていた。コピー
1003	アルバム				1冊	高島素之氏逝去ノ日（昭和2.12.28）、中央法律温古会（昭和14.5.30）他。	写真	
1007	写真帖					松下芳男見習士官から中尉時代、その他		7×11cm
1008	芳名録			昭和30年5月18日	1冊		墨書	題箋に「松下先生学位獲得祝賀記念」扉に「講演 日本軍閥の発生 法学博士 松下芳男氏 主催 明治文化研究会」
1035	『銀河の道』書評			平成元年9月18日	1枚	『銀河の道』は松下芳男の伝記。『毎日新聞』に掲載された書評のコピー。	コピー	
1036	『銀河の道』書評	川成洋		平成元年10月23日	2枚	『銀河の道』は松下芳男の伝記。『週刊読書人』に掲載された書評のコピー。	コピー	同一物2点。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1037	『銀河の道』書評	井出孫六		平成元年11月3日	1枚	『銀河の道』は松下芳男の伝記。『朝日ジャーナル』に掲載された書評のコピー。	コピー	
1038	『銀河の道』書評	池政栄		平成元年9月9日	1枚	『銀河の道』は松下芳男の伝記。『新潟日報』に掲載された書評のコピー。	コピー	
1039	松下芳男・司馬遼太郎写真				1枚			
1040	集合写真			明治35年3月	1枚	吉原写真館にて撮影。裏に松下ら6名の氏名記載。	ペン	
1041	集合写真			昭和9年5月13日	1枚	伊豆伊東にて二火会十周年の記念撮影。裏に松下ら7名の氏名記載。	鉛筆	
1042	集合写真			昭和11年12月23日	1枚	高島素之氏追悼会にて撮影。裏に松下ら11名の氏名記載。「S.2.12.28高島素之氏逝去の日」と記したメモあり。	鉛筆	
1043	集合写真			昭和12年12月14日	1枚	松下芳男召集前日の二火会にて撮影。裏に松下ら12名の氏名記載。	鉛筆	
1044	集合写真			昭和12年4月18日	1枚	歩兵52連隊の記念写真。松下ら37名の氏名を記した貼り紙つき。	印刷	
1045	集合写真			昭和22年6月20日	1枚	片山哲の首相就任祝賀会にて撮影。台紙に松下ら14名の氏名記載。	鉛筆	写真を台紙に添付。
1046	松下芳男写真			大正5年1月	1枚	裏に「大正五年一月」と記載。	ペン	
1047	松下芳男写真				2枚			
1048	集合写真				3枚	松下芳男ほか数名。3枚とも氏名等は不明。		
1049	教育総監部より招聘されし時の諸新聞の毀誉褒貶				1冊	新聞の切り抜きを台紙に貼り付けて冊子にしたもの。	印刷	
1050	松下芳男功績調書				6枚	メモ1枚、原稿用紙5枚。	ペン	
1051	会報	第二十五期生会		昭和53年11月	1冊	陸軍士官学校の25期生の会報。松下芳男はこの号に「田中新一君を思う」を寄稿。	印刷	
1052	博士論文通過に関する書類	東京大学法学部	松下芳男	昭和29年9月30日～10月1日	4枚	電報1枚、便箋3枚。松下の学位申請論文「明治軍制史論」の審査通過を伝えるもの。封筒あり。	ペン	1034(p.37)の中身か。

松下芳男関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1053	『山紫に水清き』No.10	仙幼会		昭和53年5月20日	1部	松下はこの号に「田中作戦部長の証言」を寄稿。	印刷	
1054	『山紫に水清き』No.11	仙幼会		昭和53年10月20日	1部		印刷	
1055	『山紫に水清き』No.15	仙幼会		昭和55年2月10日	1部	松下はこの号に「反戦思想の種々相」を寄稿。	印刷	
1056	『山紫に水清き』No.23	仙幼会		昭和58年8月20日	1部	本庄重男「十期生松下芳男先生の業績と人柄を偲んで」掲載。	印刷	
1057	『山紫に水清き』No.59	仙幼会		平成16年3月20日	1部		印刷	
1058	『山紫に水清き』No.67	仙幼会			1部		印刷	
12.その他								
668	「一、米国駐日大使グルーノ滞日十年ヲ読テ感アリ 二、池崎忠孝ノ著米国ノ豹変中ヨリ抄出 三、小林順一郎氏ノ対米意見書中ヨリ抄出」	政恒		昭和28年8月	1綴		墨書	
669	マツク、アーサー元帥ニ上スル書 原稿七通	八十八翁政恒		昭和24年7月	1綴	昭和25年9月訂修	墨書	
1011	精神の貴族-自然史学者・北川三郎	稲垣真美			1枚	北川は『世界文化史大系』の訳者。	印刷	新聞切り抜き。クリアファイル1点。1011～1014は同一のクリアファイル内にて保存保存(1013はp.)
1012	『長谷川伸全集』付録月報 No.4	朝日新聞社		昭和46年6月	1冊	『長谷川伸全集』第九巻は、「日本捕虜志」、「印度洋の常陸丸」を収録。この月報は江藤淳らが九巻についての感想等をつづったもの。	印刷	1011～1014は同一のクリアファイル内にて保存(1013はp.)
1014	色紙等				3枚		墨書	1011～1014は同一のクリアファイル内にて保存保存(1013はp.)
13.社会民衆党関係								
1004	昭和5年1月20日於大臣官邸晩餐会出席者			(昭和5年)	1枚	主人 海軍次官山梨勝之進	印刷	

松下芳男関係文書目録

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	記述法	備考
1005	民衆政治学校第二回講座 時間表	社会民衆党教育部		[昭和4年]	1枚	8月1日(木曜)～8月7日(水曜)の 時間割	印刷	
1006	時間割			[昭和5年]	1枚	8月15日(金)～8月21日(木)の時 間割	印刷	講座名など不明。